

第5章 保 健 事 業

第 1 節 母子保健事業

第 2 節 齒科保健事業

第 3 節 健康増進事業

第 4 節 精神保健事業

第 5 節 特定保健対策事業

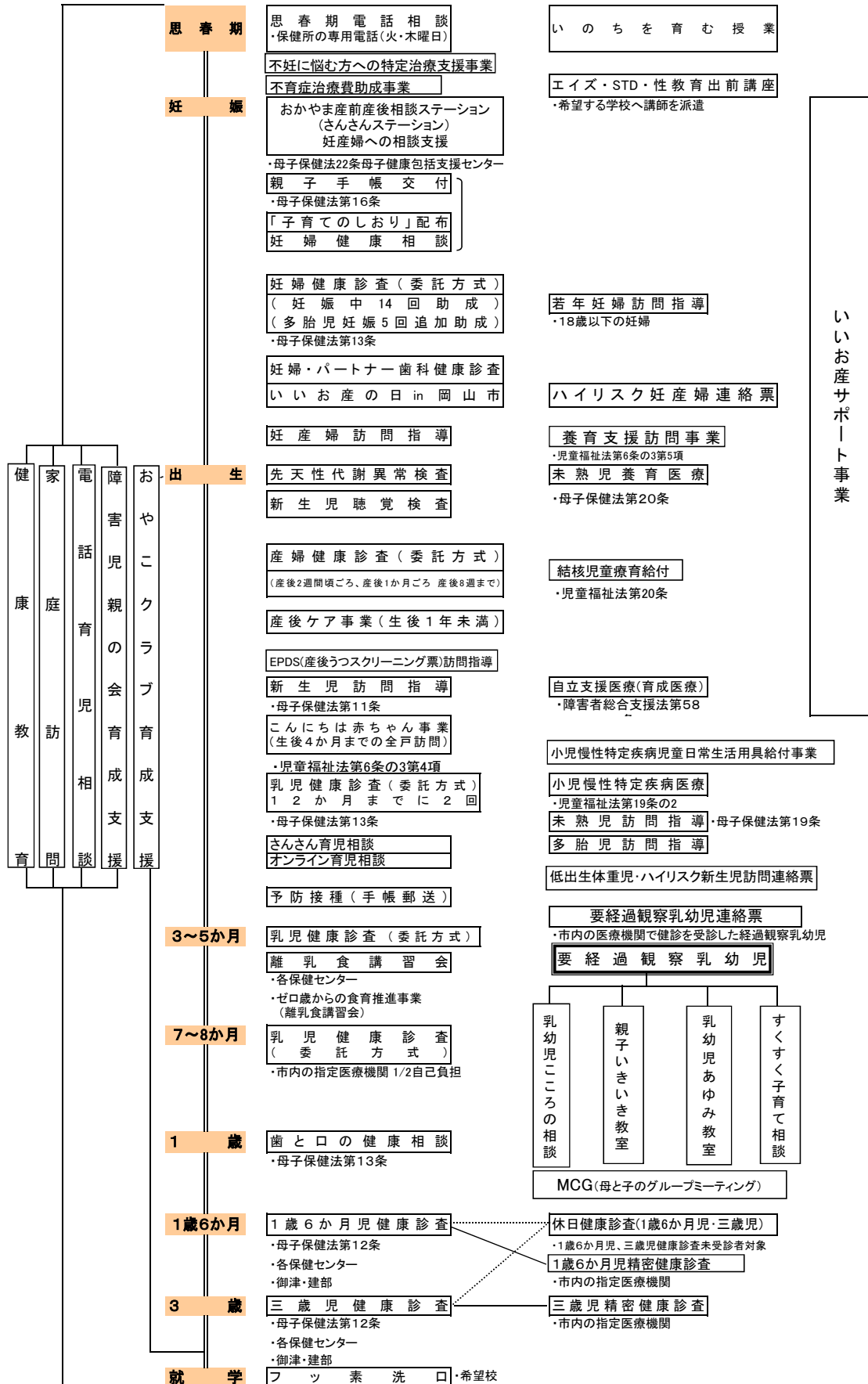
第 6 節 感染症対策事業

第 7 節 地域保健活動

第1節 母子保健事業

母子保健事業は、母性の尊重と乳幼児の健康の保持増進という母子保健法の基本理念に基づき、すべての母と子及びその家族を対象に継続的援助を行うものである。生涯にわたる健康づくりの基礎として母子保健活動に重点を置き、思春期から妊娠、出産、育児、乳幼児期を通して一貫した切れ目のないきめ細やかな支援事業を展開していく。

岡山市母子保健事業の体系(令和4年4月1日現在)



1 相談・普及啓発事業

(1) 親子（母子健康）手帳の交付（母子保健法第15条及び第16条による。）

親子（母子健康）手帳の交付は、妊婦から産婦へ、さらに乳幼児へと一貫した母子保健対策を実施するための出発点として重要なものである。

◎ 妊娠届出状況

区分 年度	届出数	性病の検査を受けた者の数	結核の検査を受けた者の数	妊 娠 週 数					
				11週以内	12～21週	22～27週	28週以上	分娩後	不詳
2	5,763	768	1,611	5,514	217	18	12	2	0
3	5,613	842	1,647	5,366	210	18	13	6	0

(2) 健康相談

妊婦健康相談、赤ちゃんすこやか相談等個別の相談支援を行うことにより母子保健に関する正しい知識の普及啓発を図っている。

ア 思春期電話相談

電話を通じて思春期に特有の健康問題に関する相談に応じ、適切な保健指導を行うことにより、母性の健康の保持増進と性意識の健全育成を図ることを目的として実施している。

（毎週火曜日、木曜日に保健所の専用電話で実施）

年度	件数
2	325
3	395

イ 妊婦健康相談

妊娠中の疾病や異常を予防し、安全に分娩させ、母体の早期回復と新生児の保育の適正化を図り、母乳栄養への意識を高めることを目的として実施している。

（親子（母子健康）手帳交付時に実施）

◎ 妊婦健康相談

区分 年度	回数	総数	相談数		妊娠週数					
			妊娠	その他	15週以内	16～19週	20～23週	24～27週	28週以上	不明
2	5,763	5,763	5,761	2	5,694	29	18	8	12	0
3	5,613	5,613	5,607	6	5,538	23	22	11	13	0

◎ おかやま産前産後相談ステーション（子育て世代包括支援センター母子保健型）

妊娠期から概ね出産後1年未満の産婦と乳児、その家族を対象とした相談窓口として、平成28年9月に開設。助産師などの専門職が親子手帳の交付や、妊娠・出産・育児についての相談、妊婦体験や乳児の体重測定も行っている。令和3年度からオンライン相談を開始した。

年度	面接相談	面接内容		電話相談	オンライン 育児相談
		妊娠届	その他の面接相談		
2	10,670	5,763	4,907	3,721	
3	10,990	5,613	5,377	5,842	16

ウ 母子サンデーサポート事業

妊婦や子育て中の母親を対象に癒しのケア等を行うことにより、育児の不安やストレスを解消し、いきいきとした子育てができるよう岡山母子の支援を考える会を通じ、活動の支援を行う。

区分 年度	回数	延人員
2	13	4
3	16	3

エ 電話育児相談

気軽に育児の悩みが相談できる窓口として、保健所に専用電話を設置して実施している。

区分 年度	相談回数	指 導 区 分					
		指導済み	要継続児	要 継 続 指 導 (内 訳)			
				訪問指導	育児相談	電話相談	その他
2	377	309	68	25	1	20	22
3	365	318	47	27	0	14	6

オ さんさん育児相談 (旧 赤ちゃんすこやか相談)

乳幼児の成長・発達に関することや、母親の育児上の悩み・不安について相談や助言を行い、日常生活の中で解決が図られるよう適切な育児支援を行うことを目的として実施している。

◎乳 児

区分 年度	実施回数(回)	実受診数	延受診数	発育状況(延)			栄養別(3か月未満)(実)			相談結果(延)	
				大	中	小	母乳	混合	人工	発達上問題のある児	要継続児
				90パーセント以上	10～90パーセント	10パーセント未満					
2	145	682	1,127	41	1,095	27	284	305	14	13	16
3	87	353	547	15	491	26	154	140	28	13	19

◎幼 児

区分 年度	実相談数	延相談数	発育状況(延)			相談結果(延)	
			大	中	小	発達上問題のある児	要継続児
			90パーセント以上	10～90パーセント	10パーセント未満		
2	5	5	0	5	0	0	0
3	1	1	0	1	0	0	0

カ 絵本の読み聞かせ事業

赤ちゃんすこやか相談や、健診などの機会をとらえて、地域の関係機関(愛育委員会、おやこクラブ、文庫、保育士、ボランティア等)と連携して、育児支援の推進を図っている。

区分 年度	実施回数	参加人数	
		乳幼児(人)	保護者(人)
		2	中止
3	1	12	12

(3) 健康教育

ア いいお産サポート事業

11月3日をいいお産の日とし、出産の現状を知り、より良いお産についての理解を深めるための機会とし、市民向けのイベントを実施している。令和3年度は11月23日に妊娠・出産・育児に関する講演や体験実習、相談等を実施し、約170名が来場した。

イ 初めての離乳食講習会

離乳期に乳以外の形のある食物に慣れさせ、幼児食への移行が進むように指導を行うことで、望ましい食生活の基盤づくりを目的に実施している。令和2年度から離乳食初期に特化した内容で指導をしている。

年度	区分	実施回数	受講者数
	2	43	459
	3	50	482

ウ ゼロ歳からの食育推進事業

離乳食に関して、家庭での食育、ライフステージに応じた栄養指導の更なる充実を目的とする。身近な公民館等で地域の栄養改善協議会等の協力により、平成21年度から実施している。

年度	区分	実施回数	参加者数	
			乳児	保護者
	2	24	231	313
	3	28	280	336

エ いのちを育む授業

中学3年生を対象に、いのちの重みを感じ、自分自身や周囲の人を大切にする気持ちを育むことを目指し、平成18年度から「いのちを育む授業」を実施している。学校の授業時間の中に位置づけ、親子ボランティア・愛育委員・民生委員・おやこクラブなど地域のボランティアの協力を得て実施している。新型コロナウイルスの影響で令和2年度より中止しており、令和3年度は、学校主体で、いのちを育む授業に準じた内容を6校で実施した。

(4) 訪問指導事業

母子保健法第11条、第17条、第19条及び岡山市妊産婦訪問指導実施要綱、岡山市新生児訪問指導実施要綱、岡山市養育支援訪問事業実施要綱に基づき、妊産婦及び新生児等に対し、保健師・助産師等による訪問指導を実施し、母体の健康保持増進、健全な子の出生を図るとともに、乳幼児の発育・栄養・環境・疾病予防について支援している。

年度	区分	妊産婦	乳 児			幼 児	児童虐待
			総 数	うち新生児	うち未熟児		
	2	2,070	2,581	302	161	1,368	1,515
	3	1,838	2,026	273	110	1,049	916

(5) こんにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事業）

すべての乳児がいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育てに関する情報提供を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対しては、適切なサービス提供に結びつける。また、地域の愛育委員の訪問ボランティアが訪問することで

地域のつながりを持ち、親の孤立を防止するとともに、地域全体で親を支援する体制を構築していくことを目的とし、平成20年12月から実施している。

年度	訪問対象者数 (各年1月～12月生まれ)	訪問ボランティア 訪問件数	職員訪問件数	訪問率
2	5,741	3,383	2,179	96.9%
3	5,500	3,583	1,770	97.3%

(6) 養育支援訪問事業

養育が困難になっている家庭に対して、具体的な育児に関する技術指導や養育者の精神的なサポートを行うことにより、個々の抱える養育上の諸問題の解決、軽減を図り、当該家庭において安定した養育が可能となるよう支援することで、児童虐待を未然に防止することを目的とし、平成17年度から実施している。

年度	件数	延訪問回数
2	35	474
3	24	248

(7) ハイリスク妊産婦連絡票

妊娠中から児童虐待の発生を未然に防止するため、産婦人科医療機関等とハイリスク妊産婦の情報共有し、連携して支援することを目的として、平成16年3月から実施している。

年度	連絡票件数	
	妊婦	産婦
2	146	502
3	161	456

(8) 低出生体重児・ハイリスク新生児訪問連絡票

周産期医療機関とハイリスク新生児の情報を共有することにより、後遺症の発症頻度が高いハイリスク新生児の地域における長期的なフォローアップをすすめることを目的とし、実施している。

年度	連絡票件数
2	196
3	178

2 検査、健康診査

(1) 妊婦一般健康診査・妊婦超音波検査・妊婦血液検査・妊婦クラミジア抗原検査・B群溶血性レンサ球菌（GBS）検査

母子保健法第13条及び岡山市妊婦産婦乳児一般健康診査実施要綱に基づいて行うもの。妊婦の健康診査の徹底を図り、疾病等を早期に発見し、適切な指導等を行うことを目的とする。

妊婦一般健康診査は、平成19年度までは妊娠前半期と後半期に2回助成していたが、平成20年度には助成回数を5回とした。また、平成21年度からは、助成回数を14回以内とすることに加え、妊婦超音波検査と妊婦血液検査を併せて、医療機関に委託して実施している。

平成21年度からの妊婦一般健康診査では、妊娠初期から妊娠23週までは4週間に1回、妊娠24週から妊娠35週までは2週間に1回、妊娠36週以降分娩までは、1週間に1回で実施している。妊婦超音波検査は、妊婦1人につき4回以内とし、8週頃、20週頃、30週頃、37週頃を目安に、必ず妊婦一般健康診査と併せて実施している。妊婦血液検査は、妊婦1人につき2回以内とし、26週頃、37週頃に必ず妊婦一般健康診査と併せて実施している。

平成22年度途中から、HTLV-1抗体価検査が追加され、妊婦一般健康診査第1回目の健診に含めて行っている。また、平成23年度から妊娠30週頃を目安に妊婦クラミジア抗原検査が追加され、平成28年度からは妊娠34週頃を目安にB群溶血性レンサ球菌（GBS）検査と、妊婦一般健康診査第1回目に不規則抗体検査が追加された。さらに、令和元年度から産婦健康診査が追加され、令和3年度からは多胎児妊婦の妊婦一般健康診査の助成回数を19回以内とした。

項目	区分	年度	受診者数 (延人数)	健 診 結 果			
				異常なし	要 観 察	要精検	要 医 療
妊婦一般健康診査		2	67,012	60,260	2,131	297	4,324
		3	65,486	59,107	1,972	313	4,094
妊婦超音波検査		2	21,640	20,904		73	663
		3	21,025	20,383		62	580
妊婦血液検査		2	10,427	8,631	206	114	1,476
		3	10,148	8,398	178	180	1,392
妊婦クラミジア抗原検査		2	5,393	5,333			60
		3	5,308	5,250			58
B群溶血性レンサ球菌（GBS）検査		2	5,190	4,757			433
		3	5,120	4,649			471
産婦健康診査		2	9,694	9,106	437	10	141
		3	9,232	8,685	389	11	147

(2) 乳児一般健康診査

母子保健法第13条及び岡山市妊婦産婦乳児一般健康診査実施要綱に基づいて行うもの。乳児の健康診査の徹底を図り、心身障害等の異常を早期に発見し、適切な指導等を行うことを目的とする。医療機関に委託して1歳に到達した月の月末までに2回実施している。（受診票は親子（母子健康）手帳別冊の受診票つづりに添付）

年度	区分	受診者数(延)	健 診 結 果			
			異常なし	要 観 察	要精検	要 医 療
2		9,530	8,915	376	75	164
3		9,035	8,431	405	67	132

(3) B型肝炎母子感染防止事業

岡山市B型肝炎母子感染防止事業実施要綱に基づいて行うもの。医療機関に委託して妊婦にHBs抗原検査等を実施することにより、B型肝炎の母子感染をおこすおそれのある妊婦を発見し、これらの妊婦から生まれた乳児に対し、B型肝炎ワクチン投与等の予防措置を実施している。

◎ 妊婦の検査状況

年度	区分	HBs抗原 検査者数(A)	HBs抗原 陽性者数(B)	陽性率 (B/A) (%)
2		5,689	0	0
3		5,528	4	0.072

(4) 先天性代謝異常等検査

従来、先天性代謝異常疾患及びクレチン症の早期発見を図るため、新生児（生後4～6日）について血液によるマススクリーニング検査を実施していた。平成24年度から先天性代謝異常等検査にタンデムマス検査を導入し、平成30年度から2次疾患を含む25疾患が対象となった。

年度	区分	先天性代謝異常等				クレチン症	
		基本5項目		その他の項目		受診者数	患者数
		受診者数	患者数	受診者数	患者数		
2		(6,229) 5,451	(2) 1	(6,229) 5,451	(2) 2	(6,229) 5,451	(9) 6
3		(5,884) 5,220	(0) 0	(5,884) 5,220	(3) 3	(5,884) 5,220	(5) 4

* () 内は、岡山県外に住所を有する新生児受診者を含む

(5) 新生児聴覚検査

聴覚障害を早期に発見し、できるだけ早い段階で、必要な治療や療育を受け、聴覚障害によってもたらせるコミュニケーション障害を軽減するため、新生児に対する自動聴性脳幹反応検査（自動ABR）による聴覚検査を平成13年7月から県事業として実施。平成20年4月から市事業として実施している。令和元年度より使用検査機器にMB-11ベラフォンを追加した。

年度	検査数	健診結果		
		異常なし(初回検査)	異常なし(確認検査)	要再検
2	5,097	4,978	76	43
3	4,992	4,888	77	27

(6) 産後ケア事業

出産直後の産婦が地域で安心して子育てができるよう、産科医療機関や助産所での宿泊産後ケア・日帰り産後ケアを通じて、産婦の心身のケアや育児サポート等を行うことを目的とする。令和元年10月から実施している。

年度	宿泊産後ケア			日帰り産後ケア	
	申請件数	延べ泊数	延べ日数	申請件数	延べ日数
2	70	206	276	15	17
3	119	379	498	23	23

(7) 3～5か月児健康診査

母子保健法第13条及び岡山市妊婦産婦乳児一般健康診査実施要綱に基づいて行うもの。乳児の健康増進を図るとともに、疾病や障害を早期に発見し、適切な指導を行うことを目的とし（受診票は親子（母子健康）手帳別冊の受診票つづりに添付）、平成6年度から医療機関へ委託して実施している。

◎健康診査の状況

区分 年度	対象 数	受 診 数	受 診 率 (%)	発育状況(体重)			栄養種別(1か月未まで)		
				大 90パーセン タイル 以 上	中 10～90 パーセン タイル	小 10パーセン タイル 未 満	母乳	混合	人工
2	5,616	5,300	94.4	234	4,168	898	2,407	2,636	257
3	5,354	5,070	94.7	277	3,649	1,144	2,111	2,656	303

区分 年度	指導区分(延)				診査所見(延)											
	正 常	要 観 察	要 精 検	要 医 療	脱 先 天 性 股 関 節 白	先 天 性 口 唇 ・ 口 蓋 裂	形 態 異 常	斜 頸	心 臓 疾 患	皮 膚 疾 患	呼 吸 器 疾 患	消 化 器 疾 患	神 精 経 神 障 害・ 他	そ の 他	計	
2	4,714	346	73	173	28	5	0	7	66	327	2	10	9	78	532	
3	4,471	341	59	203	31	5	0	8	39	331	5	5	1	86	511	

(8) 7・8か月児健康診査

母子保健法第13条及び岡山市7・8か月児健康診査実施要綱に基づいて行うもの。乳児の健康の保持増進を図るとともに、疾病や障害を早期に発見し、適切な指導を行うことを目的として医療機関に委託して実施している。

◎健康診査の状況

区分 年度	対象 数	受 診 数	受 診 率 (%)	発育状況(体重)			指導区分(延)			
				大 90パーセン タイル 以 上	中 10～90 パーセン タイル	小 10パーセン タイル 未 満	正 常	要 観 察	要 精 検	要 医 療
2	5,719	4,566	79.8	338	3,449	779	3,991	389	25	162
3	5,325	4,306	80.9	398	3,118	790	3,736	425	28	126

区分 年度	診査所見(延)											
	発 達 の 異 常	精 神 発 達 障 害	運 動 発 達 障 害	視 聴 覚 の 異 常	痙 攣	異 循 環 呼 吸 器 常 系	血 液 疾 患	異 腹 部 消 化 器 常	皮 膚 の 疾 患	形 態 異 常	そ の 他	計
2	81	7	84	17	4	45	26	38	296	50	81	729
3	85	3	109	19	5	37	15	18	296	40	85	712

(9) 1歳6か月児健康診査

母子保健法第12条及び岡山市1歳6か月児健康診査実施要綱に基づいて行うもの。身体及び精神発達の上で、重要な時期である1歳6か月児について、疾病等の早期発見及び育児支援を行うことを目的として実施している。平成15年度から年4回日曜日の健診実施日を設けている。

ア 一般健康診査の状況

区分 年度	実施回数	対象数	受診数	受診率 (%)	発育状況			
					体重			身長3パーセント イル未満
					97パーセント イル以上	3~97パー セント イル	3パーセ ントイル 未満	
2	133	5,655	5,481	96.9	142	5,172	166	350
3	147	5,644	5,326	94.4	115	5,044	167	324

区分 年度	発達状況				指導区分(延)				個別相談件数		
	言語		運動		正常	要観察	要精検	要医療	心理	栄養	歯科
	正常	観察	正常	観察							
2	4,641	774	5,395	83	3,855	1,379	199	99	370	656	172
3	4,539	709	5,239	80	3,740	1,382	182	63	376	654	246

区分 年度	診 査 所 見 (延)																
	耳の異常	鼻咽喉の異常	眼の異常	皮膚の異常	呼吸器疾患	四肢の異常	心臓疾患	口腔異常	精神発達異常	言葉の遅れ	歩行遅延	ひきつけ	扁桃腺肥大	腫瘍リンパ腺	脳性小児麻痺	その他	計
2	7	6	49	356	32	31	84	7	29	445	45	58	5	1	0	653	1,808
3	8	4	44	379	38	34	95	11	23	396	34	80	3	2	1	588	1,740

イ 歯科健康診査の状況

区分 年度	対象数	受診数	受診率 (%)	むし歯の状況(延本数)			むし歯のある児(実数)				う蝕有病者率 (%)	不正咬合	軟組織疾患	その他の異常
				総数	う1人歯平均数均	処置歯数	A型	B型	C型	計				
2	5,655	5,476	96.8	69	0.01	5	31	2	1	34	0.6	371	501	40
3	5,644	5,325	94.3	66	0.01	0	27	0	0	27	0.5	551	363	50

(10) 三歳児健康診査

母子保健法第12条及び岡山市三歳児健康診査実施要綱に基づいて行うもの。身体発育及び精神発達の間から重要な時期である三歳児に対し、医師等による発育状態、疾病の有無等の健診を実施している。各種心身障害の早期発見及び早期療育を行うことを目的として実施している。平成17年度から年4回日曜日の健診実施日を設けている。

ア 一般健康診査の状況

区分 年度	実施回数	対象数	受診数	受診率 (%)	発育状況		
					体重		
					97パーセント 以上	3～97パー セント	3パーセント 未満
2	142	5,943	5,673	95.5	111	5,365	192
3	156	6,022	5,606	93.1	107	5,281	212

区分 年度	正 常	指 導 区 分 (延)			
		身 体 面		精 神 面	
		要 観 察	要 精 検	要 医 療	計
2	3,758	1,381	572	90	2,043
3	3,278	1,592	974	84	2,650

◎ 診査所見 (延)

区分 年度	診査所見(延)											尿検査蛋白+
	胸郭異常	け有熱 いれ無熱 ん時	貧血	眼の異常	四肢の異常	皮膚の異常	耳鼻咽喉の疾患	扁桃腺肥大	心臓疾患	呼吸器疾患	言語障害	
2	10	207	3	395	27	323	50	39	78	106	165	9
3	9	189	2	872	30	395	59	44	103	126	236	8

イ 歯科健康診査の状況

区分 年度	対象数	受診数	受診率 (%)	むし歯の状況(延本数)			むし歯のある児(実数)					う蝕有病者率 (%)	(不正咬合)	軟組織疾患	異その他 常の
				総数	1人平均 う歯数	処置歯数	A型	B型	C1型	C2型	計				
2	5,943	5,664	95.3	2,407	0.420	354	540	163	4	26	733	12.9	2,724	501	149
3	6,022	5,597	92.9	2,614	0.467	366	531	192	6	27	756	13.5	2,505	435	121

3 要経過観察乳幼児対策事業

各種健診等の結果、要経過観察児、発育・発達状況が心配される乳幼児に対する支援を目的として実施している。

- ア すくすく子育て相談：小児科医、歯科医等による身体発育・発達に関する相談や子育て相談
（1歳6か月児健康診査、三歳児健康診査の受診時期を超過した未受診者を対象とする）

区分 年度	実施 回数	小児科受診数		指 導 区 分 (延)					歯科 受診 者数	指 導 区 分			
		実数	延数	問題なし	要観察	要精検	要医療	その他		問題なし	要清掃	経過観察	要治療
2	3	7	7	1	3	0	2	1	7	0	1	5	2
3	3	7	7	1	3	0	2	1	7	0	1	5	2

- イ 乳幼児こころの相談：児童精神科医による情緒・精神発達に関する相談

区分 年度	実 施 回 数	受 診 数		指 導 区 分 (延)										
		実 数	延 数	(問 放 置 可 し)	(て 再 来 観 察)	(こ こ ろ の 相 談)	(要 精 検 ・ 要 療 育)	(二 次 教 室 指 導)	他 機 関 紹 介	児 童 発 達 支 援	機 構 の 支 援	支 援 セ ン タ ー	市 発 達 障 害 者	児 童 相 談 所
2	69	235	240	1	9	4	206	4	0	0	1	2	21	
3	60	203	204	0	5	2	179	11	1	3	0	1	25	

- ウ 乳幼児あゆみ教室：運動発達の遅れが気になる乳幼児に対して、専門の指導員、保健師等による日常生活習慣の中での関わり方や、体操による発達アドバイスを行う教室。

- エ 親子いきいき教室：情緒・精神発達に問題が疑われる児や子育てに不安を有する保護者に対して児童精神科医・臨床心理士・保育士・保健師等による親子のふれあいや集団生活等の指導を通して児の発達を促したり育児を見直す教室。

(単位：組)

区分 年度	実 施 回 数	来所数		来所時年齢				教室終了時事後方針(重複あり)								
		実 数	延 数	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳 以 上	放 置 可 	保 健 師 等 の フ ォ ロ ー 	教 室 継 続	乳 幼 児 こ こ ろ の 相 談	保 育 園	医 療 機 関	児 童 デ イ	児 童 相 談 所	転 出
乳 幼 児	2	11	10	35	3	7	0	0	0	6	4	0	3	0	0	0
あゆみ教室	3	8	14	27	3	11	0	0	0	9	5	0	2	3	0	0
親 子	2	8	15	57	0	3	12	0	0	6	0	2	0	5	1	0
いきいき教室	3	6	10	25	0	0	10	0	0	3	0	1	0	6	0	0

- オ MCG (母と子のグループミーティング)

育児不安や、育児困難感を抱える母親たちが同じ悩みを持つ母親と話し合い、自らの課題に気づ

くことで、親子関係を見直し虐待を未然に防止することを目的とする。

区分 年度	実施回数	母		子	
		実数	延数	実数	延数
2	22	19	109	23	80
3	12	14	41	10	26

4 医療等援護

(1) 未熟児養育医療の給付

入院療育の必要な乳児に対し、医療給付を行うものであり、出生体重が2,000g以下または生活力が特に薄弱な未熟児が対象となる。[母子保健法第20条]

◎ 出生体重別給付新規認定数

年度	出生体重	総 数		1,000g以下	1,001～ 1,500g	1,501～ 2,000g	2,001～ 2,500g	2,501g以上
		対前年度比(%)						
2		159	124.2	19	23	65	19	33
3		130	81.8	14	23	50	15	28

(2) 自立支援医療（育成医療）の給付（中核市移行に伴い、平成8年度より市が実施）

身体に障害のある児童に対して障害を除去し、生活の能力を得るために必要な医療の給付を行うものであり、身体障害者福祉法で掲げる程度の障害を持つ又は放置により将来において同程度の障害を残すと認められる児童が対象となる。[障害者総合支援法第58条、岡山市自立支援医療費（育成医療）支給認定実施要綱]

◎ 自立支援医療（育成医療）給付認定数

年度	疾患 総 数	対前年度比(%)	肢体不自由によるもの	視覚障害によるもの	聴覚・平衡機能障害によるもの	音声・言語・そしゃく機能障害によるもの	心臓障害によるもの	腎臓障害によるもの	小腸機能障害によるもの	その他の内臓障害によるもの	免疫機能障害によるもの	肝臓機能障害によるもの
3	74	104.2	5	4	0	54	5	0	1	3	0	2

(3) 不妊に悩む方への特定治療支援事業（旧 特定不妊治療費助成事業）

不妊治療のうち、体外受精及び顕微授精については、1回の治療費が高額であり、その経済的負担が大きいことから十分な治療を受けることが出来ず、子どもを持つことを諦めざるを得ない方も少なくないことから、治療に要する費用の一部を助成している。また、不妊や不育症に関する相談があれば専門機関を紹介する。

平成16年10月1日から事業実施。平成28年1月分より、初回特定不妊申請の助成額の拡充と男性不妊治療についても助成。令和3年1月分より助成対象者、回数の算定方法の変更、助成額の増額など大幅に事業を拡充している。

年 度	助 成 件 数
2	922
3	1,305

(4) 不育症治療助成事業

不育症に悩む夫婦に対して不育症の検査・治療費（保険適用外）の一部を助成している。令和2年7月から事業実施。令和2年4月1日以降に開始した検査・治療から助成の対象とする。

年 度	助 成 件 数
2	11
3	23

5 おやこクラブの育成

◎ おやこクラブネットワーク

市内に居住する乳児から就園前の幼児とその親を対象に、親と子の仲間づくりをすすめるとともに、健康の保持増進を図ることを目的に活動している。

平成18年度から合併地区である御津・灘崎地区おやこクラブを平成20年度から建部地区おやこクラブを加え、平成21年度には瀬戸地区おやこクラブを加えるとともに、政令指定都市への移行に伴い、組織体制を6ブロックから5ブロック体制としたが、平成25年度から6ブロック体制に戻し活動している。また、ブロックの名称を「北区中央ほしブロック」「北区北ゆきブロック」「中区つきブロック」「東区はなブロック」「南区西そらブロック」「南区南おひさまブロック」と決め、地区活動のほか、ブロック別交流会等のブロック活動やネットワーク全体の活動を繰り広げている。その中で地域における子育てグループリーダーの育成や子育てグループ活動の事業を市から委託を受けて実施している。

1 会員数

年度	区分	地区数	会員数	会員数内訳	
				親	子
2		63	1,279	605	674
3		52	956	451	505

2 ブロック別会員数

ブロック名	会員数(親+子)
北区中央ほし	190 (91+99)
北区北ゆき	194 (93+101)
中区つき	244 (111+133)
東区はな	89 (43+46)
南区西そら	75 (35+40)
南区南おひさま	164 (78+86)
計	956 (451+505)

(※会員数は令和3年9月現在)

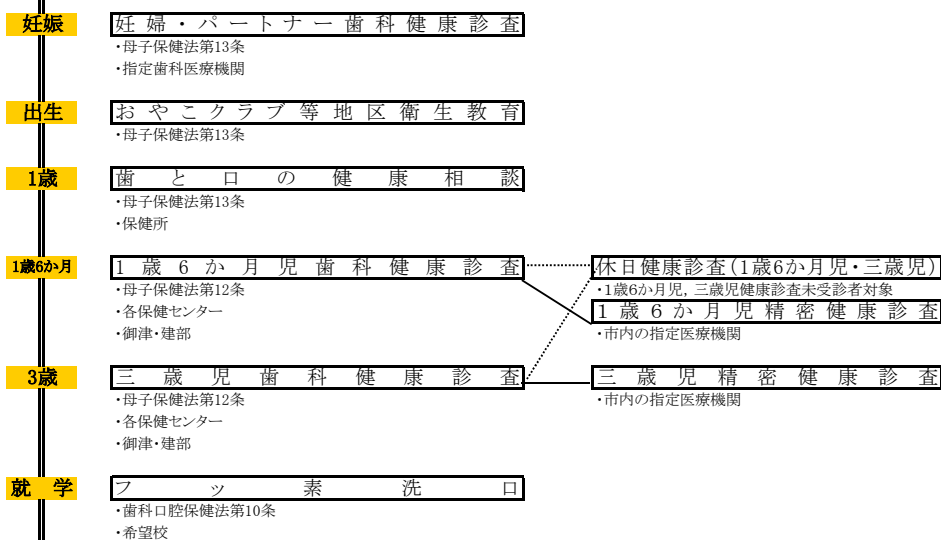
第2節 歯科保健事業

口腔の健康は、国民が健康で質の高い生活を営む上で基礎的かつ重要な役割を果たしているとともに、国民の日常生活における歯科疾患の予防に向けた取組が、口腔の健康の保持にきわめて有効である。

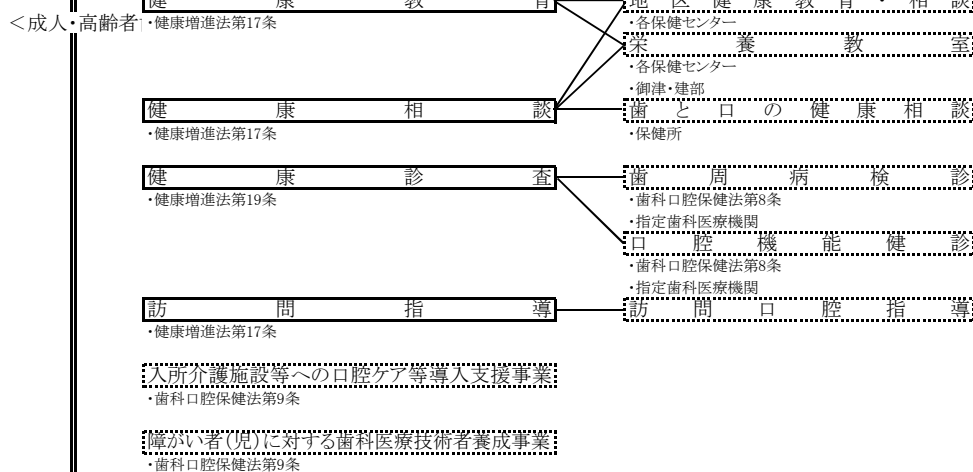
歯科保健事業は、歯科口腔保健の推進に関する法律に基づき、①国民が、生涯にわたって日常生活において歯科疾患の予防に向けた取組を行うとともに、歯科疾患を早期に発見し、早期に治療を受けることを促進すること、②乳幼児期から高齢期までのそれぞれの時期における口腔とその機能の状態及び歯科疾患の特性に応じて、適切かつ効果的に歯科口腔保健を推進すること、③保健、医療、社会福祉、労働衛生、教育その他の関連施策の有機的な連携を図りつつ、その関係者の協力を得て、総合的に歯科口腔保健を推進すること、を基本理念として行う。

岡山市歯科保健事業の体系(令和4年4月1日現在)

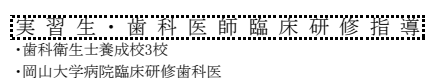
<母子歯科保健事業>



成人



<その他>



1 母子歯科保健事業

ア 妊婦・パートナー歯科健康診査

平成 27 年 10 月から、妊婦とそのパートナーを対象に自身と生まれてくる子どもの口腔衛生の向上を目的に歯科健康診査が追加され、妊娠期間中に 1 回、指定医療機関で実施している。

年度	妊婦	パートナー
2	1,877	910
3	1,705	829

イ 小学校等におけるフッ素洗口

永久歯の虫歯予防のためフッ素洗口（ブクブクうがい）を実施している。

年度	保育園	幼稚園	認定こども園	小学校	中学校	合計
2	4	2	4	3	1	14
3	2	2	3	1	1	9

ウ 母子に対する歯科衛生教育（おやこクラブ、幼稚園児、保護者を対象）

年度	実施回数	人数
2	23	446
3	24	457

2 成人・高齢者歯科保健事業

ア 入所介護施設等への口腔ケア等導入支援事業

歯科保健医療サービスの提供が困難な入所介護施設等に対し、歯科医師や歯科衛生士を派遣することで施設利用者の口腔の機能と衛生状態の改善・向上を図るとともに、各事業所が主体的に口腔ケア等を行う契機とする。（令和 2 年度から、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、施設への部外者の立ち入りが制限され、事業の一部を中止。令和 2・3 年度はオンラインで施設職員対象研修会を開催。）

イ 障害者（児）に対する歯科医療技術者養成事業

障害者（児）への歯科治療に関して、様々な状態に応じた知識や技術を有する歯科専門職を育成し、市内の歯科診療所で、むし歯や歯周病といった一般的な治療（1 次治療）が行えるようにすることにより、岡山大学病院や旭川荘などの高次医療機関において、全身麻酔を要するような 2 次、3 次治療が円滑に実施できる体制を整備する。（令和 2・3 年度は、研修会を開催。）

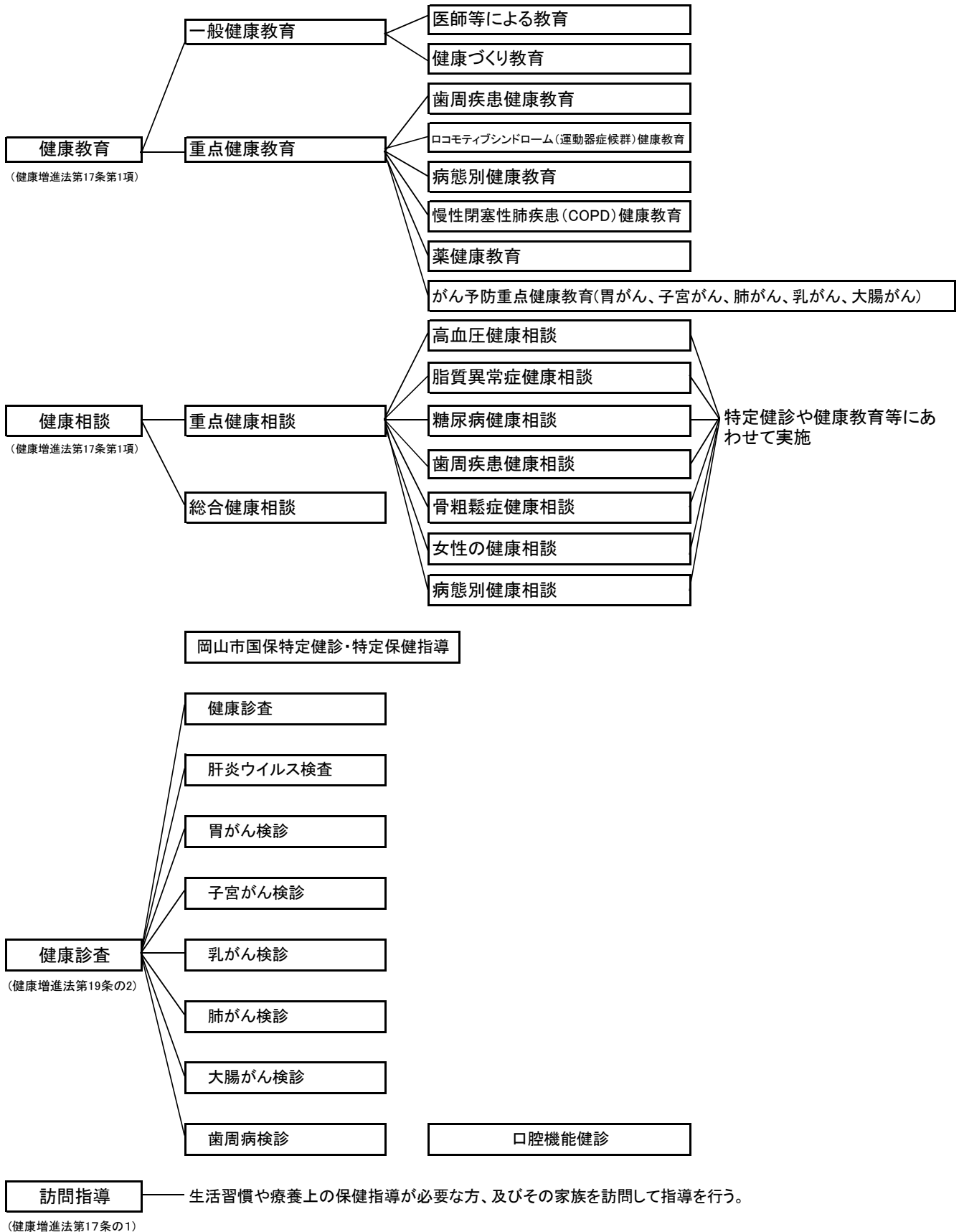
ウ 高齢者歯科口腔健診（令和元年度～）

歯・歯肉の状態や口腔内の衛生状態に問題がある高齢者や、口腔機能の低下の恐れがある高齢者をスクリーニングし、詳しい検査や治療等につなげることで、口腔機能の維持・向上、全身疾患の予防等を実現することを目的として実施する。

第3節 健康増進事業

健康増進法に基づき、生活習慣病等の予防や早期発見に関する健康増進事業を実施する。また、高齢者の医療の確保に関する法律に基づききめ細かな保健事業を実施する。

I 健康増進事業（令和4年度）



1 年度別健康増進事業の実施状況

事業	年度	事業内容	2	3
健康教育	一般健康教育	回数	47	82
		受講者数	2,280	3,768
	重点健康教育	回数	71	159
		受講者数	1,736	4,177
	計	回数	118	241
		受講者数	4,016	7,945
健康相談	総合健康相談	回数	3,302	3,069
		受講者数	3,346	3,174
	重点健康相談	回数	101	144
		受講者数	114	183
	計	回数	3,403	3,213
		受講者数	3,460	3,357
健康診査	後期高齢者・生保健診		12,499	11,520
	肝炎ウイルス検査		8,958	7,626
	胃がん検診		11,404	12,175
	子宮がん検診		16,715	18,335
	乳がん検診		12,670	14,893
	肺がん検診		46,753	48,998
	大腸がん検診		39,001	39,375
訪問指導	実 人 員		72	92
	延 人 員		110	137

2 健康教育

健康教育は、生活習慣病の予防、健康増進等に関する正しい知識の普及を図ることにより「自らの健康は自らがつくる」という認識と自覚を高め、壮年期からの健康の保持増進に役立てることを目的として実施している。

令和3年度

区分	内容	回数	受講者数	64歳以下 (再掲)
	一般健康教育	82	3,768	1,891
重点 健 康 教 育	歯周疾患	59	1,463	541
	ロコモティブシンドローム	6	134	71
	病態別	91	2,493	1,187
	薬	3	87	59
	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	0	0	0
合 計		241	7,945	3,749

3 健康相談

健康相談は、心身の健康に関する個別の相談に応じて必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に役立てることを目的として実施している。

令和3年度

区分	内容	回数	受講者数	64歳以下 (再掲)
重 点 健 康 相 談	高血圧	10	10	1
	脂質異常症	2	2	0
	糖尿病	11	11	1
	歯周疾患	82	119	61
	骨粗鬆症	15	15	0
	女性の健康	1	1	1
	病態別	23	25	8
	総合健康相談	3,069	3,174	2,393
合 計		3,213	3,357	2,465

4 健康診査

健康診査は、がん、心臓病、脳卒中等の疾病を予防する対策の一環として、これらの疾患の早期発見を図るため、これらの疾患の疑いのある者又は危険因子をもつ者をスクリーニングするとともに、単に医療を要する者の発見だけでなく、健康診査の結果、必要な者に対して栄養や運動等に関する保健指導、健康管理に関する正しい知識の普及を行うことによって、早期からの健康についての認識と自覚の高揚を図ることを目的として実施している。

(1) 健康診査年度別受診者数

区分	年度	元	2	3
後期高齢者・生保健診	集 団 検 診	8	7	6
	医 療 機 関	13,358	12,492	12,229
	計	13,366	12,499	12,235
肝炎ウイルス検査	集 団 検 診	159	144	109
	医 療 機 関	9,316	8,814	7,517
	計	9,475	8,958	7,626
胃がん検診	集 団 検 診	1,128	605	733
	医 療 機 関	12,706	10,799	11,442
	計	13,834	11,404	12,175
子宮がん検診	集 団 検 診	568	392	420
	医 療 機 関	17,847	16,323	17,915
	計	18,415	16,715	18,335
乳がん検診	集 団 検 診	1,078	867	742
	医 療 機 関	14,524	11,803	14,151
	計	15,602	12,670	14,893
肺がん検診	集 団 検 診	8,316	4,558	6,032
	医 療 機 関	43,824	42,195	42,966
	計	52,140	46,753	48,998
大腸がん検診	集 団 検 診	8	5	6
	医 療 機 関	41,997	38,996	39,369
	計	42,005	39,001	39,375
歯周病検診	医 療 機 関	424	323	356
高齢者歯科口腔健診	医 療 機 関	35	352	245

(2) 健康診査受診結果（令和3年度）

ア 岡山市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導

令和4年3月報告分現在

特定健康診査受診者数

特定健診

年齢	受診者数 (人)	(内訳) (人)	
		男性	女性
40～44歳	1,267	557	710
45～49歳	1,487	687	800
50～54歳	1,666	729	937
55～59歳	1,626	672	954
60～64歳	3,088	1,088	2,000
65～69歳	7,343	2,978	4,365
70～74歳	14,546	6,052	8,494
計	31,023	12,763	18,260

35歳からの健診

年齢	受診者数 (人)	(内訳) (人)	
		男性	女性
35歳	154	68	86
36歳	131	62	69
37歳	129	65	64
38歳	143	59	84
39歳	158	69	89
計	715	323	392

特定健診受診券 交付総数 105,287人
 受診率 29.5%
 35歳からの受診券 交付総数 6,442人
 受診率 11.1

2. メタボリックシンドローム該当者数

年齢	基準該当		予備群該当	
	数(人)	出現率	数(人)	出現率
40～44歳	116	9.2%	139	11.0%
45～49歳	181	12.2%	184	12.4%
50～54歳	248	14.9%	221	13.3%
55～59歳	321	19.7%	188	11.6%
60～64歳	605	19.6%	341	11.0%
65～69歳	1,749	23.8%	870	11.8%
70～74歳	3,590	24.7%	1703	11.7%
計	6,810	22.0%	3,646	11.8%

メタボリックシンドローム
 非該当者数 20,528人
 判定不能 39人

3. 血圧区分（高血圧治療ガイドライン2019）

特定健診

区分	数(人)	構成比(%)
正常血圧	7,721	24.9%
正常高値血圧	5,327	17.2%
高値血圧	8,709	28.1%
I度高血圧	7,025	22.6%
II度高血圧	1,874	6.0%
III度高血圧	367	1.2%
計	31,023	100.0%

35歳からの健診

区分	数(人)	構成比(%)
正常血圧	465	65.0%
正常高値血圧	94	13.1%
高値血圧	121	16.9%
I度高血圧	29	4.1%
II度高血圧	4	0.6%
III度高血圧	2	0.3%
計	715	100.0%

4. 健診項目別受診状況

特定健診					35歳からの健診			(参考基準値)
検査項目		受診者数 (人)	有所見者 (受診勧奨判定値)		受診者数 (人)	有所見者 (受診勧奨判定値)		
			人数	出現率		人数	出現率	
肥満	腹囲	31,018	11,534	37.2%	714	172	24.1%	男性 85cm 以上、女性 90cm 以上
	BMI	31,021	8,251	26.6%	715	155	21.7%	25 以上
脂質	LDL	31,023	9,275	29.9%	715	162	22.7%	140mg/dl 以上
	HDL	31,023	300	1.0%	715	13	1.8%	34mg/dl 未満
	中性脂肪	31,022	1,031	3.3%	714	24	3.4%	300mg/dl 以上
肝機能	GOT	31,023	673	2.2%	715	18	2.5%	51IU/l 以上
	GPT	31,023	1,209	3.9%	715	58	8.1%	51IU/l 以上
	γ-GTP	31,022	1,400	4.5%	715	28	3.9%	101IU/l 以上
代謝系	空腹時血糖	21,748	1,487	6.8%	599	13	2.2%	126mg/dl 以上
	HbA1c	30,778	2,906	9.4%	710	16	2.3%	6.5%以上 (NGSP 値)
尿腎機能	糖	30,988	1,490	4.8%	715	9	1.3%	ー、±以外
	蛋白	31,003	1,575	5.1%	715	28	3.9%	ー、±以外

5. 特定保健指導の実績 (国への報告値)

動機づけ支援	年度	対象者数	利用者数	利用率	終了者数
	平成 30 年度	2,996	285	9.5%	271
	令和元年度	2,829	286	10.1%	267
	令和 2 年度	2,490	325	13.1%	260

積極的支援	年度	対象者数	利用者数	利用率	終了者数
	平成 30 年度	763	62	8.1%	47
	平成元年度	752	47	6.3%	34
	令和 2 年度	671	56	8.3%	52

イ 後期高齢者・生保健診

◎受診者数(人)

年齢(歳)	後期高齢者健診	生保健診	合計
40～44歳		31	31
45～49歳		57	57
50～54歳		85	85
55～59歳		75	75
60～64歳		76	76
65～69歳	9	79	88
70～74歳	26	116	142
75～79歳	5,072	77	5,149
80～84歳	3,675	51	3,726
85～89歳	1,867	34	1,901
90～94歳	735	14	749
95～99歳	138	1	139
100歳以上	16	1	17
計	11,538	697	12,235

後期高齢者健診対象者数
92,716人(R3.4.1時点)
受診率 12.4%

◎ 総合判定の要指導・要精検者数

項目	要指導数(人)・出現率		要精検・治療数(人)・出現率		計	
心疾患	123	1.1%	492	4.3%	615	5.3%
高血圧	1,727	15.0%	4,333	37.6%	6,060	52.5%
腎臓病	687	6.0%	300	2.6%	987	8.6%
糖尿病	1,611	14.0%	1,401	12.1%	3,012	26.1%
肝臓病	1,145	9.9%	341	3.0%	1,486	12.9%
貧血	119	1.0%	98	0.8%	217	1.9%
脂質異常症	2,395	20.8%	2,869	24.9%	5,264	45.6%

異常なし：1,895人 出現率 16.4%

◎ 口腔機能

	問診項目	該当者数(人)	出現率
嚥下機能	お茶や汁物でむせることがある	2,338	20.3%
咀嚼機能	半年前に比べ固いものが食べにくい	3,026	26.2%

◎ 栄養状態

	BMI		血清アルブミン値	
	20.0以下	3.6以下	3.7～4.0	4.1以上
該当者数(人)	2,222	739	3,714	6,960
出現率	19.3%	6.4%	32.2%	60.3%

◎ 低栄養フォローアップ事業

健診結果に基づき、各指導区分の対象者へ個別アプローチを実施

種別	実施内容	件数
情報提供	低栄養予防の教育資材を個別送付	1,271
保健指導	訪問による栄養指導(岡山県栄養士会へ委託)	52
受診勧奨	A1b 3.6以下の者へ医療機関受診勧奨を通知	710

ウ 肝炎ウイルス検査

令和3年度

節目検査	年齢(歳)	受診者数				C型				C型陽性率(%)	B型		B型陽性率(%)
		総人数	C+B型	C型のみ	B型のみ	高力価	中低力価・HCV核酸陽性	中低力価・HCV核酸陰性	低力価		陽性	陰性	
	40	27	26	0	1	0	0	1	25	0.00%	0	27	0.00%
節目 外 検 査	年代(歳)	受診者数				C型				C型陽性率(%)	B型		B型陽性率(%)
		総人数	C+B型	C型のみ	B型のみ	高力価	中低力価・HCV核酸陽性	中低力価・HCV核酸陰性	低力価		陽性	陰性	
	40	2,995	2,943	45	7	0	0	428	2,560	0.00%	12	2,938	0.41%
	50	2,314	2,275	33	6	1	2	224	2,081	0.13%	7	2,274	0.31%
	60	2,181	2,137	35	9	2	3	115	2,052	0.23%	5	2,141	0.23%
	70~	109	108	1	0	0	1	6	102	0.92%	1	107	0.93%
小計	7,599	7,463	114	22	3	6	773	6,795	0.12%	25	7,460	0.33%	
合計	7,626	7,489	114	23	3	6	774	6,820	0.12%	25	7,487	0.33%	

エ 胃がん検診

◎受診者数 (エックス線検査)

令和3年度

年代(歳)	受診者数	要精検者数 (要精検率)	精密検査結果						進行期区分		
			精検受診数 (精検受診率)	異常認めず	が ん の 疑 い	が ん	そ の 他 悪 性 腫 瘍	が ん 以 外 の 疾 患	早期がん	進行がん	不明
50	1,189	21 1.8%	14 66.7%	1	1	0	2	10	1	0	0
60	2,014	76 3.8%	56 73.7%	8	1	1	0	46	1	0	0
70~	3,645	146 4.0%	113 77.4%	10	0	2	4	97	0	0	0
計	6,848	243 3.5%	183 75.3%	19	2	3	6	153	2	0	0

◎受診者数 (内視鏡検査)

令和3年度

年代(歳)	受診者数	要精検者数 (要精検率)	精密検査結果						進行期区分		
			精検受診数 (精検受診率)	異常認めず	が ん の 疑 い	が ん	そ の 他 悪 性 腫 瘍	が ん 以 外 の 疾 患	早期がん	進行がん	不明
50	634	59 9.3%	48 81.4%	5	2	0	2	39	0	2	0
60	1,359	141 10.4%	101 71.6%	18	1	0	1	81	0	1	0
70~	3,334	426 12.7%	299 70.4%	25	14	4	1	255	14	0	0
計	5,327	626 11.8%	448 71.6%	48	17	4	4	375	14	3	0

オ 子宮がん検診

◎受診者数

令和3年度

年代 (歳)	受診者数(人)		要精検者数(人)				頸部精 検率(%)	精検	
	頸部	体部 (再掲)	視診・ 内診	頸部	体部	頸部 体部		精検受診数 (人)	精検受診率 (%)
20	959	1	3	54	0	0	5.6%	37	64.9%
30	1,836	51	13	75	0	0	4.1%	62	70.5%
40	4,984	299	46	125	4	0	2.5%	94	53.7%
50	4,503	434	29	57	1	0	1.3%	42	48.3%
60	3,630	185	15	25	1	0	0.7%	19	46.3%
70～	2,423	91	17	15	2	0	0.6%	13	38.2%
計	18,335	1,061	123	351	8	0	1.9%	267	55.4%

◎精密検査結果 (延べ件数)

令和3年度

年代(歳)	異常認めず	AIS と CIN (※)	子宮頸部 がん	子宮体部 がん	確定できず	その他の 疾病
20	8	20	0	0	9	0
30	18	30	0	0	13	1
40	21	39	0	0	28	6
50	10	14	0	0	17	1
60	4	4	0	1	8	2
70～	4	2	0	1	6	0
計	65	109	0	2	81	10

※AIS と CIN : 上皮内腺がん、上皮内腫瘍、異形成分類 (CIN1～CIN3) を含む

カ 乳がん検診

◎受診者数(マンモグラフィ併用)

令和3年度

年代(歳)	受診者数 (人)	構成比	要精検者数 (人)	要精検率	精検	
					精検受診数 (人)	精検受診率
40	4,938	33.2%	410	8.3%	350	85.4%
50	3,627	24.4%	242	6.7%	205	84.7%
60	3,343	22.4%	170	5.1%	144	84.7%
70～	2,985	20.0%	168	5.6%	130	77.4%
計	14,893	100.0%	990	6.6%	829	83.7%

◎精密検査結果(延べ件数)及び乳がんTNM病期

令和3年度

年代 (歳)	異常 認めず	乳がん	がんの 疑い	その他	TNM 病期					
					0	I	II	III	IV	不明
40	87	12	2	249	6	3	1	1	0	1
50	64	12	2	127	2	5	3	1	0	1
60	54	19	1	70	5	10	3	1	0	0
70～	61	14	2	53	6	6	1	1	0	0
計	266	57	7	499	19	24	8	4	0	2

キ 肺がん検診

◎受診者数

令和3年度

年代(歳)	受診者数(人)(喀痰再掲)		要精検者数(人)	要精検率	精検受診数(人)	精検受診率
	読影	喀痰				
40	3,530	-	32	0.9%	27	84.4%
50	4,498	53	72	1.6%	53	73.6%
60	10,466	157	311	3.0%	235	75.6%
70～	30,504	494	1,273	4.2%	768	60.3%
計	48,998	704	1,688	3.4%	1083	64.2%

◎精密検査結果別人員及び肺がん組織型

令和3年度

年代(歳)	異常認めず	扁平上皮癌	腺癌	小細胞癌	大細胞癌	その他肺がん	転移性肺腫瘍	肺がんの疑い	肺良性腫瘍	縦隔腫瘍	肺結核(活動・非活動)	胸膜プラーク	びまん性胸膜肥厚	その他
40	12								1	1				13
50	31								1					2 19
60	88		2					11	2		2	5	1	124
70～	224	5	7	1		3		34	7	2	12	26	4	443
計	355	5	9	1	0	3	0	45	11	3	14	31	7	599

ク 大腸がん検診

令和3年度

年代(歳)	受診者数	要精検者数	精密検査結果						進行期区分		
			精検受診数	異常認めず	がんの疑い	が ん	その他悪性腫瘍	がん以外の疾患	早期がん	進行がん	不明
40	3,084	184	91	44	0	0	0	47	0	0	0
			6.0%								
50	3,846	219	129	40	2	0	0	87	2	0	0
			5.7%								
60	8,701	546	298	60	9	0	0	229	3	5	1
			6.3%								
70～	23,744	2,042	1,011	193	33	2	1	782	21	11	1
			8.6%								
計	39,375	2,991	1,529	337	44	2	1	1,145	26	16	2
			7.6%								

ケ 歯周病検診・高齢者歯科口腔健診

歯周病検診

年齢	受診者数		判定		
	男	女	異常なし	要指導	要精検
30	4	2	0	1	5
35	2	3	1	1	3
40	2	7	0	3	6
45	9	12	1	2	18
50	7	13	1	2	17
55	8	10	1	1	16
60	5	29	4	2	28
65	20	67	9	10	68
70	65	91	18	19	119
計	122	234	35	41	280

高齢者歯科口腔健診

年齢	受診者数		判定		
	男	女	異常なし	要指導	要精検
76	54	81	8	3	124
80	50	60	2	2	106
計	104	141	10	5	230

コ がん検診精検受診勧奨事業

個別勧奨対象者：個別検診（胃エックス線検診・大腸がん検診）および集団検診の判定が「要精検」の者のうち、精検報告書が返送されていない者に対し、精検受診勧奨文および精検受診状況調査票を送付した。

検診機関結果把握：胃内視鏡検診および子宮がん検診は、一次検診実施機関で精密検査を受ける者が多いことから、精検結果未把握の者について、一次検診実施機関に対して、精検実施の有無や実施の場合は精検結果通知書の提出を依頼した。

令和3年度	受診勧奨文送付数	返送数
個別勧奨	1,085件	591件
検診機関結果把握	247件(延べ68機関)	49件

サ 肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップ事業

対象者：岡山市肝炎ウイルス検査陽性者

方法：精密検査の受診勧奨文とともに、フォローアップ事業（検査や治療状況を把握）同意書や調査票を送付した。

令和3年度陽性者	陽性者数	把握数	同意数	受診等の状況把握 (電話での聞き取りも含める)	医療機関 受診あり
B型	24	9	5	9	9
C型	9	2	2	2	2

5 訪問指導

訪問指導は、療養上の保健指導が必要であると認められる者及び家族等に対して保健師等が訪問して、その健康に関する問題を総合的に把握し、必要な指導を行い、これらの者の心身機能の低下の防止と健康の保持増進を図ることを目的として実施している。

令和3年度

区分	実人数	延人数	64歳以下(再掲)	
			実人数	延人数
要指導者等	64	88	26	43
個別健康教育対象者	1	2	1	2
閉じこもり予防	1	1	0	0
介護家族者	4	6	0	0
寝たきり者	計	0	0	0
	口腔衛生指導(再掲)	0	0	0
	栄養指導(再掲)	0	0	0
認知症	5	8	0	0
その他	17	32	10	11
総計	92	137	37	56

6 元気の出る会

身近な小地域で、高齢者、障害者、ボランティアなどが集い、交流を図り、あたたかい共生のまちづくりをめざしている「元気の出る会」を支援している。(20 地区組織 513 人)

令和3年度

地区交流会	開催回数	参加人数(延)	地域別交流会	開催回数	参加人数(延)
	198	1,895		0	0

※新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止

II 健康増進栄養事業

食事・運動・休養の調和のとれた生活習慣を基本として、自分の健康は自分で守るという認識のもとに、市民の健康増進意識を高め、疾病を予防し、QOLを向上させることを目的として、総合的な栄養改善・健康づくり対策を推進している。

1 栄養改善事業

乳幼児期から高齢期に至るまでの栄養指導や栄養相談を目的として実施するとともに、健康増進法に基づいて特定給食施設の指導などを実施している。

(1) 栄養運動指導実施状況

令和3年度

		個別指導人数(延)							集団指導人数(延)						
		栄			運		休	禁	栄		運		休	禁	
		養	病態別栄養指導(再掲)	訪問指導による栄養指導(再掲)	動	病態別運動指導(再掲)	養	煙	養	病態別栄養指導(再掲)	動	病態別運動指導(再掲)	養	煙	
指	指	指	指	指	指	指	指	指	指	指	指	指	指		
導	導	導	導	導	導	導	導	導	導	導	導	導	導		
実 施 数	妊産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	乳幼児	147	3	6	0	0	0	0	560 (58回)	0	0	0	0	0	
	20歳未満 (乳幼児を除く)	0	0	0	0	0	0	0	154 (7回)	0	0	0	0	0	
	20歳以上 (妊産婦を除く)	251	32	131	0	0	0	0	2,005 (101回)	898 (51回)	192 (7回)	19 (1回)	0	0	

(2) 栄養相談実施状況

年 度	元	2	3
延 人 数	119	138	167

◎国民健康・栄養調査

令和3年度は中止

(3) 特定給食施設指導

ア 給食施設一覧

令和3年9月30日現在

		管理栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士どちらもある施設			栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士どちらもない施設数	施設数合計	管理栄養士・栄養士合計	調理師のいる施設		調理師のいない施設
		施設数	管理栄養士数	施設数	管理栄養士数	栄養士数	施設数	栄養士数				施設数	調理師数	
指定施設①	学 校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病 院	4	32	5	45	25	0	0	0	9	102	8	119	0
	介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	児童福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	寄宿舎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	矯正施設	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1
	自衛隊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般給食センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	5	33	5	45	25	0	0	0	10	103	8	119	1	
又は1日300食以上 又は1日750食以上 (指定施設①除く)②	学 校	55	56	3	3	3	21	21	0	79	83	78	237	1
	病 院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	児童福祉施設	1	1	0	0	0	5	5	1	7	6	7	15	0
	社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	寄宿舎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	矯正施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自衛隊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般給食センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	56	57	3	3	3	26	26	1	86	89	85	252	1	
又は1日100食以上 又は1日250食以上 (①、②を除く)	学 校	19	19	2	2	2	9	9	3	33	32	26	51	7
	病 院	7	43	11	32	20	0	0	0	18	95	17	91	1
	介護老人保健施設	7	22	4	7	4	2	3	0	13	36	12	28	1
	介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	8	18	6	15	12	0	0	0	14	45	10	24	4
	児童福祉施設	18	25	15	18	17	47	65	27	107	125	66	120	41
	社会福祉施設	1	2	1	2	6	0	0	1	3	10	1	2	2
	事業所	1	1	0	0	0	2	2	0	3	3	1	2	2
	寄宿舎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	矯正施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自衛隊	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	0
	一般給食センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	62	131	39	76	61	60	79	31	192	347	134	321	58	
その他の給食施設	学 校	2	2	0	0	0	2	2	4	8	4	4	5	4
	病 院	25	36	10	21	15	4	4	6	45	76	29	69	16
	介護老人保健施設	3	5	5	6	6	2	2	1	11	19	10	15	1
	介護医療院	0	0	1	1	2	0	0	0	1	3	0	0	1
	老人福祉施設	30	47	18	27	19	9	11	19	76	104	35	74	41
	児童福祉施設	10	13	5	6	6	24	34	19	58	59	33	44	25
	社会福祉施設	6	6	1	1	1	1	1	1	9	9	8	15	1
	事業所	1	1	0	0	0	0	0	7	8	1	5	5	3
	寄宿舎	1	1	0	0	0	2	2	2	5	3	2	5	3
	矯正施設	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	1
	自衛隊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般給食センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	1	2	0	0	0	1	3	0	0	1	
計	78	111	41	63	51	45	57	59	223	282	126	232	97	

イ 特定給食施設等の給食管理指導状況

特定給食施設等の、管理栄養士、栄養士、調理従事者に対して、栄養管理・衛生管理について集団又は個別の相談・指導を実施している。

また、特定給食施設栄養報告書を提出している施設の栄養士・給食責任者に対して、栄養管理について相談・指導を実施している。

令和3年度

	指 定 施 設									指定施設以外の 特定給食施設					その他の 給食施設	
	指導・ 助言件数		立 入 検 査 件 数	勧告 件数		命令 件数		罰則処 分件数		指 導 ・ 助 言 件 数	立 入 検 査 件 数	勧 告 件 数	命 令 件 数	罰 則 処 分 件 数	指 導 ・ 助 言 件 数	立 入 検 査 件 数
	管 理 栄 養 士 配 置	栄 養 管 理 数		管 理 栄 養 士 配 置	栄 養 管 理 数	管 理 栄 養 士 配 置	栄 養 管 理 数	管 理 栄 養 士 配 置	栄 養 管 理 数							
学 校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病 院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介 護 医 療 院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
老人福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
児童福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事 業 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
寄 宿 舎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矯 正 施 設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自 衛 隊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般給食センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 健康増進法に基づく虚偽・誇大広告に関する相談・指導及び該当食品の収去

年度	相談件数	指導件数	収去件数
2	8	0	0
3	10	0	0

(5) 食品表示法に基づく栄養成分表示等に関する相談・指導及び該当食品の収去

年度	相談件数	指導件数	収去件数
2	88	0	0
3	66	1	0

2 市民の健康づくり推進事業

市民の健康については、不適正な食生活や運動不足による高血圧、脂質異常症、肥満などが多く、生活習慣病が増加傾向にある。このため、岡山市栄養改善協議会に委託して各学区・地区で食生活改善事業を実施するとともに、栄養教室を開講して地区のボランティア活動を行う栄養委員の養成を実施している。

(1) 食生活改善事業実施状況

年度・区分	2		3	
	学区数(延)	参加数(延)	学区数(延)	参加数(延)
総数	184	8,949	232	9,112
食育の推進	38	1,637	50	1,727
男性のための料理講習会	36	533	56	823
骨粗鬆症予防講習会	6	82	17	309
独り暮らし高齢者食事訪問	31	4,918	27	4,094
健康づくり普及啓発イベント	5	162	6	150
生活習慣病予防講習会	38	734	48	1,121
高齢者食生活講習会	30	883	28	888

(2) 栄養教室開催状況

年度	区分	教室数	受講実人員	修了者数
2		7	150	143
3		7	122	116

3 健康づくりのための運動普及推進事業

健康増進の普及を図るため、公民館等でウォーキング講座等を実施している。運動普及員養成講座や運動普及応援団づくり講座の修了生を中心とした運動普及活動の場として、地域の公民館等で運動普及事業を開催している。

(1) 運動普及事業実施状況

令和3年度

事業名	事業場所	実施回数(回)	受講人数(延)
健康づくり応援団 定例会	西大寺ふれあいセンター	7	42

4 たばこ対策事業

(1) 健康増進法における受動喫煙防止に関する相談、指導及び助言、勧告、命令

令和3年度

	相談	指導・助言
件数	123	16

(2) 喫煙可能室設置施設届出状況

令和4年3月末 届出数 497件(内廃止3件)

(3) 屋内禁煙施設専用標識「岡山市空気のおいしい施設ステッカー」配布事業

受動喫煙を防止する環境づくりを目的として、屋内に喫煙場所を設けない施設に対し、岡山市独自で作成した標識の配布を行っている。

令和4年3月末 配布数 129件

Ⅲ 「健康市民おかやま 2 1」 関連事業

1 「健康市民おかやま 2 1」 推進会議

「健康市民おかやま 2 1」を円滑に推進するために、平成 15 年から開催している。市民、ヘルスボランティア、専門団体、学校・園、職域、保険者などの代表者 32 名で構成している。

令和 3 年 8 月 令和 3 年度第 1 回健康市民おかやま 2 1 推進会議

・令和 2 年度の活動報告および、今後の取り組みについてなど

令和 4 年 1 月 令和 3 年度第 2 回健康市民おかやま 2 1 推進会議（書面会議）

・令和 3 年度活動報告および、最終評価についてなど

2 「健康市民おかやま 2 1」 普及啓発部会

「健康市民おかやま 2 1」の普及啓発を行うために、イベント実行委員会として平成 18 年度に立ち上げた。推進会議と同様に、市民、ヘルスボランティア、専門団体、学校・園、職域などの代表者で構成している。令和元年度以降必要時開催としており、令和 3 年度は実施なし。

3 「健康市民おかやま 2 1」 活動評価部会

「健康市民おかやま 2 1」の進捗管理、活動評価を行うために平成 18 年 12 月に設置した。

令和 3 年 11 月 令和 2 年度健康市民おかやま 2 1 第 2 回活動評価部会

・最終評価の具体的な取り組みについて協議

4 職域・保険者連絡会

平成 19 年度に実施した中間評価の結果、不規則な生活習慣が課題となった働き盛り世代の健康づくりを進めるために、各種団体との協議、情報交換の場として、職域・保険者連絡会を平成 21 年 12 月に立ち上げた。保険者、商工会議所、商工会など 12 名で構成しているが、令和 3 年度は実施なし。

5 地域別推進会議

6 保健センターエリアごとに推進組織が立ち上がり、それぞれの地域で目標・計画を立て、地域特性に沿った活動をしている。また中学校区や小学校区などの小単位で推進会議が立ち上がっている地域もある。地域推進会議のメンバーが中心となる「市民が主役！健康市民おかやま 2 1 地域広げ隊」を平成 25 年度に立ち上げ、地域全体の健康づくりを推進するためのきめ細やかな啓発活動を行っている。

6 「健康市民おかやま 2 1」 推進宣言施設等登録事業

「健康市民おかやま 2 1」の主旨に賛同し、実施することを宣言した施設、団体及び個人を登録することにより市民の健康に対する意識を向上させ、「健康市民おかやま 2 1」に基づいた市民の主体的な健康づくりを地域に広げることを目的に実施している。

令和 3 年度末登録者数

施設	1,026	団体	422	個人	45,427
----	-------	----	-----	----	--------

7 令和3年度に実施したその他の主な事業

(1) ええとこ発見図作成を通じた地域力の創生

ええとこ発見図を活用したウォーキング大会（各小学校区・中学校区での開催）

令和3年度 実施回数：29回、延べ参加人数：1,004人

(2) 学生健康づくり応援事業

20歳代の同世代からの朝食摂取を促す普及啓発活動（ソーシャルメディアを活用した情報発信、チラシの作成・配布）を、健康市民おかやま21普及啓発部会に所属している学生を中心に行っている事業である。

(3) 高齢者のための低栄養予防アドバイス事業

高齢者の低栄養を予防するため、岡山市栄養改善協議会へ委託し、一人暮らし高齢者に対して、訪問および高齢者食生活講習会で、アドバイスを行う事業である。

実施学区・地区数：85学区・地区

参加者数：8,471人

(4) かるうま減塩普及啓発事業

「かるうま」とは、かるい塩加減なのにおいしい（うまい）の意。

かるい塩加減に慣れることで、40歳以降の高血圧性疾患等、生活習慣病を予防することを目的とした事業である。

「減塩食品はおいしくない」というイメージを払拭する機会として、企業と連携し、減塩食品のPRを実施。

(5) 保健所フェスタ（令和3年度は中止）

働き盛り世代・子育て世代を中心に、健康づくりに関する普及啓発の機会として実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(6) SIBを活用した健康ポイント事業（愛称：おかやまケンコー大作戦）

健康寿命延伸に寄与するとされる「運動」、「栄養・食生活」、「社会参加」に対してインセンティブを付与することで、市民等の健康づくりを促し、健康状態の改善（BMI）、医療費の削減を目指して実施。

期間：平成31年4月～令和4年3月

参加者数：14,064人（令和3年8月31日現在）

IV 実習生・歯科医師臨床研修指導

1 実習生指導

保健師学生	岡山大学 9名×5週間 山陽学園大学 6名×3週間 玉野総合医療専門学校 4名×3週間
助産師学生	岡山医療センター附属岡山看護助産学校 4名×1週間 山陽学園大学 6名×1週間
栄養士学生	ノートルダム清心女子大学 19名×1週間 くらしき作陽大学 20名×1週間 園田学園女子大学 1名×1週間
歯科衛生士学生	朝日医療大学校 46名 インターナショナル岡山歯科衛生専門学校 19名

2 歯科医師臨床研修指導

岡山大学病院 45名

第4節 精神保健事業

複雑化する現代社会においては、ストレスが生じやすく、自殺やアルコール関連問題、青少年の不登校やひきこもり、認知症などあらゆるライフステージで、「心の健康」をめぐる問題があり、市民の健康づくりの課題となっている。これらのことをふまえ、精神保健福祉に関する普及啓発をすすめ、関係機関との連携を図りながら、地域における精神障害者の自立と、社会参加の促進、福祉の向上のために事業を展開している。

また、政令市移行に伴い精神保健福祉センターである「こころの健康センター」を開設し、岡山市の精神保健福祉に関する専門機関、技術的中核機関として、地域住民の精神的健康の保持増進、精神障害の予防、適切な精神医療の推進、社会復帰の促進等を目標にした業務を行っている。

I 保健所

1 精神障害者の医療

(1) 措置入院

市民や、警察官等から「自身を傷つけ、又は他人に害を及ぼすおそれがある」等との通報や申請に基づき、その状況を調査し、指定医による診察を行い、その結果入院が必要と認められた場合、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（以下この節において「法」という。）第29条の規定により指定都市の市長の権限で入院措置をとる。

岡山市保健所では、通報を受理すると職員が事前調査を行い、診察に同行し入院の可否に係る対応及び状況把握や家族等への指導等を行っている。

ア 通報等の処理状況（（）内は、通報等受理したもので、岡山市外に居住地がある者）

令和3年度

区分	申請通報届出件数（件）	調査により診察の必要がないと認められた者（人）	診 察 を 受 け た 者 （ 人 ）			
			法第29条該当症の者	法第29条該当症でなかった者	精神障害者でなかった者	精神障害者であった者
一般の申請	22条	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
警察官通報	23条	97(10)	27(3)	14(2)	56(5)	0(0)
検察官通報	24条	7(0)	5(0)	2(0)	0(0)	0(0)
矯正施設長等通報	26条	40(1)	38(0)	2(1)	0(0)	0(0)
合計		144(11)	70(3)	18(3)	56(5)	0(0)

※年度中に通報等がされた者であって、処理が翌年度に繰り越された者は除く。

イ 措置入院患者の状況（（）内は、通報等受理したもので、岡山市保健所が対応した岡山市外に居住地がある者）

令和3年度

区分	令和2年度末措置患者数	令和3年度新規措置患者数	令和3年度措置解除患者数	令和3年度末措置患者数
人数	7(3)	18(3)	21(6)	4(0)

(2) 医療保護入院

管内病院からの法第33条による医療保護入院者の入院届等を受理している。

法第33条に規定する医療保護入院に際して、精神障害者に家族等がいないとき、又はその意思を表示することができない場合は、市長同意による医療保護入院となる。

○入院届届出件数

令和3年度

	家族等の同意による入院届出件数	退院届出件数
件数	2,526	2,538

○市長同意届出件数・面接件数

令和3年度

	市長同意届出件数	面接実施件数
件数	57	12

2 障害者総合支援法及び精神障害者保健福祉手帳に係る事務

(1) 自立支援医療費（精神通院）

障害者総合支援法の規定に基づき、原則、通院に係る医療費総額の9割を保険者及び公費で負担する。各保健センター、分室においては、自立支援医療費（精神通院）申請や各種変更届等の受付を行っている。

申請受付数

令和3年度

申請窓口	北区中央 保健センター	北区北 保健センター	中区 保健センター	東区 保健センター	南区西 保健センター	南区南 保健センター	御津・建部 分室	その他	合計
件数	8,550	2,363	1,874	2,177	1,391	2,774	151	208	19,488

(2) 自立支援医療費（精神通院）支払い事務

令和3年度

各医療機関、薬局等から請求のあった診療報酬の公費負担分について、支払い事務を行っている。

○支払い件数： 243,526 件 ○支払額：2,084,933千円

(3) 自立支援給付（障害福祉サービス）・地域生活支援事業給付

障害者総合支援法の規定に基づき、保健所及び各保健センター、分室において、自立支援給付（障害福祉サービス）の申請や各種変更届等の受付・支給決定を行っている。

令和3年度

	介護給付		訓練等給付		地域相談支援給付		地域生活支援事業		計画相談事業	
	新規	更新	新規	更新	新規	更新	新規	更新	新規	更新
決定数(実)	162	1,113	429	1,709	24	148	105	538	247	1,630
計	1,275		2,138		172		643		1,877	
決定数(延)	200	2,008	600	3,907	26	223	110	657	265	2,311
計	2,208		4,507		249		767		2,576	

※集計方法を平成29年度分より手集計からシステム集計に変更。

(4) 精神障害者保健福祉手帳の交付

各保健センター、分室において、申請受付・交付事務を行っている（新規・更新・障害等級変更・市外転入）。

令和3年度

申請窓口	北区中央 保健センター	北区北 保健センター	中区 保健センター	東区 保健センター	南区西 保健センター	南区南 保健センター	御津・建部 分室	合計
申請受付数	2,082	467	375	414	263	621	25	4,247
窓口交付数	2,050	477	368	428	244	604	25	4,196

3 地域精神保健活動

(1) 普及啓発

精神保健福祉に関する知識の普及啓発により、住民の心の健康の保持増進を図るとともに、精神障害に対する偏見を解消し、障害者を地域で支える環境づくりを推進している。

令和3年度

	開催回数	参加者数
健康教育	54	1,387

(2) 相談・支援事業

保健所及び各保健センター、分室において、心の健康に関する相談や認知症高齢者、精神障害者の社会復帰等についての精神科医師や保健師等によるこころの健康相談や支援を実施している。また、在宅の精神障害者に対して、保健所保健師等による家庭訪問を実施している。

ア 保健所及び各保健センター、分室への来所相談の利用状況

令和3年度

区分	実施回数	相談件数	
		実件数	延件数
相談日	25	47	47
相談日以外	9,852	9,836	9,852
合計	9,877	9,883	9,899

イ 来所相談結果（相談日における相談結果の分類）

令和3年度

相談結果	人数(延)	相談結果	人数(延)
F0 症状性を含む器質性精神障害	4	F6 成人のパーソナリティ・行動の障害	1
F1 精神作用物質による精神・行動の障害	3	F7 精神遅滞(知的障害)	0
F2 統合失調症、統合失調型障害等	4	F8 心理的発達の障害	6
F3 気分(感情)障害	1	F9 小児／青年期の行動・情緒障害等	0
F4 神経性障害、ストレス関連障害等	20	診断なし	4
F5 生理的障害および身体的行動症候群	0	その他	4

(重複あり)

ウ 支援状況（相談日における相談結果の分類）

令和3年度

区分	医療機関の紹介	相談継続	訪問指導	社会資源紹介	カウンセリング	その他
件数	14	6	0	5	20	5

注) 複数の支援を行った場合は重複掲載。

エ 電話相談実施状況

○相談延件数：9,225件

区分	実件数	延件数			
		認知症高齢者	その他の精神障害	アルコール依存	計
人数	573	8	1,304	45	1,357

カ 精神科専門スタッフによる訪問相談事業

令和3年度は精神科専門スタッフの訪問相談は実施せず。

(3) 精神障害者地域交流事業

精神保健ボランティアグループ「愛月の会」が、西保健センターエリアに在住する精神障害者やその家族、また管内の家族会に呼びかけ、学習会や交流会を実施している。

令和3年度

○当事者・家族との交流 : 1回

(4) 精神障害者を地域で支える共生のまちづくり事業

市民の精神障害者への理解を深め、偏見除去を促進するため、各保健センターが愛育委員会と協働し、ピアサポーターによる交流会・自主制作映画上映等を実施している。

令和3年度

○交流会及び映画上映 実施回数 : 1回
参加者数 : 41人

(5) 地域精神保健福祉連絡会

保健、福祉、医療関係者等の連携、資質向上の場としての地域精神保健福祉連絡会を開催している。

令和3年度

○幹事会 : 1回
○情報交換会 : 0回（新型コロナウイルス感染症流行のため中止）
○地域別研修会 : 5回（1回は新型コロナウイルス感染症流行のため中止）

(6) ケース検討会

対応の困難な事例について、関係機関相互の連携を図り、適切な支援を継続するため実施している。

令和3年度

北区中央	北区北	中区	東区	南区西	南区南	御津・建部	その他	計
156	65	75	16	27	32	0	207	578

4 社会復帰対策

回復途上にある精神障害者の社会復帰を促進するため、訪問等による相談・支援を行っている。

○社会復帰相談指導件数 : 4,729 件

令和3年度

(1) 当事者会、家族会活動の支援

精神障害者の病状回復や社会復帰の促進、また、不安や悩みの軽減のため、精神障害者やその家族が互いに支えあい、ともに活動する場である当事者会、家族会の育成、支援を行っている。

ア 岡山市精神障害者家族会連絡会補助金

会員間の情報交換、市民への理解と啓発活動を行っている岡山市精神障害者家族会連絡会の活動費の一部を補助している。

イ 保健所中心で結成している当事者会、家族会の状況

令和3年度

担当	当事者会の状況		担当	家族会の状況	
	名称	活動状況		名称	活動状況
北区北保健センター	ふれあいハート会	休会	北区中央保健センター	NPO法人ふりこの会	毎月第3火曜日開催(8月を除く)総会、講演、情報交換会、研修報告、グループワーク等 6回、49人
東区保健センター	ピースハート	休会	東区保健センター	つばめの会	毎月第3木曜日開催 総会、話し合い、座談会、家族学習会等 10回、100人
南区西保健センター	たのしい会	休会	南区西保健センター	ひまわり会	毎月第4月曜日開催 総会、講演会、話し合い、施設見学等 3回、10人
	なのはな会(当事者・家族合同)	毎月第4火曜日開催 話し合い、交流会、調理実習、レクリエーション、研修会等 5回、31人		なのはな会(当事者・家族合同)	毎月第4火曜日開催 話し合い、交流会、レクリエーション、研修会等 5回、31人
精神保健係	岡精連(岡山市精神障害者団体連絡会)	毎月第1金曜日開催 話し合い、企画等 3回、19人(延)	精神保健係	市家連(岡山市精神障害者家族会連絡会)	毎月第2月曜日開催 役員会、代表者会、家族ゼミナール等 12回、90人
当事者会・家族会の状況					
御津	みつの会	休会			

(2) 精神障害者ピアサポート活動支援事業

令和3年度

精神障害のある当事者(ピア=仲間)による相談支援が、精神障害者の不安解消や偏見解消に有効であることから、入院患者等の地域移行や在宅障害者の地域定着支援を促進するため、ピアサポーターを養成する。また、平成26年度よりピアサポーターの派遣を拡充して実施している。

○養成講座修了者数 : 13 人

○派遣回数 : 84 回(当事者個人、医療機関、愛育委員会、家族会、教育機関等)

○派遣人数 : 延 183 人(ピアサポーターのみ)、270 人(コーディネーター含む)

(3) 地域活動支援センターⅠ・Ⅱ・Ⅲ型事業所等への助成

令和3年度

作業・生活訓練とふれあいの場を提供し、社会適応能力の向上を図る地域活動支援センターⅠ・Ⅱ・Ⅲ型事業所等に対して運営に要する経費等を補助し、地域活動支援センターⅠ・Ⅱ型事業所を除き、通所のための交通費の一部を助成している。

○補助施設数： 9ヶ所

(4) 医療観察法（心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律）
対象者への地域支援

岡山保護観察所から依頼のあった医療観察法対象者に対し、地域社会での処遇を適正かつ円滑に実施するため、精神保健係と地区保健センター担当者にて医療機関や岡山保護観察所、関係する支援者間での会議への参加や、自宅等への訪問支援を行っている。

令和3年度

対象者数		終了者	年度末時点 対象者数	延訪問件数	会議回数	延会議 参加者数
前年度継続	新規					
11	4	5	10	56	45	602

※精神保健係対応件数のみ計上。

(5) 措置入院者等の退院後支援

平成30年3月の「地方公共団体による精神障害者の退院後支援に関するガイドライン」により、措置入院等支援ニーズが高い精神障害者への退院後の社会復帰促進及びその自立と社会経済活動への参加促進のため、医療等の包括的な支援を継続的かつ確実に受けられる仕組みを整備している。

○ガイドラインに基づく退院後支援状況 ()内は令和元年度からの継続数

	医療機関数	実施件数	支援終了件数
令和3年度	2	13(4)	9(4)

II こころの健康センター

1 精神保健福祉相談・支援

精神保健及び精神障害者福祉に関する相談及び指導のうち、複雑又は困難なものについて、相談を実施する。

(1) 専門相談

令和3年度

	依存症相談	思春期相談	自死遺族相談
相談者数(実)	36	10	4
相談者数(延)	132	63	33

(2) こころの電話相談

区分 年度	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	こころの健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他※	計
元	16	1	46	10	27		28	505	28	2	5	3,780	4,448
2	10	7	48	3	8	11	53	520	39	2	4	3,385	4,090
3	18	1	54	7	41	7	43	744	60	1	8	2,641	3,625

※ 「老人精神保健」から「うつ・うつ状態」までに該当しない精神保健福祉に関する相談・支援（ひきこもり含む）

(3) 来所相談

区分 年度	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	こころの健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他※	計
元	4	8	30	11	27		71	69	36	0	4	1,386	1,646
2	8	10	20	4	20	1	91	96	100	1	11	1,199	1,561
3	1	18	14	3	29	1	66	71	28	10	0	1,114	1,355

※ 「老人精神保健」から「うつ・うつ状態」までに該当しない精神保健福祉に関する相談・支援（ひきこもり含む）

(4) 訪問

区分 年度	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	こころの健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他※	計
元	11	766	61	0	2	50	62	48	0	1	1,224	2,225
2	3	247	51	1	2	59	104	25	0	1	1,150	1,643
3	3	363	42	1	18	29	85	14	0	0	1,167	1,722

※ 「老人精神保健」から「うつ・うつ状態」までに該当しない精神保健福祉に関する相談・支援（ひきこもり含む）

(5) 診察

区分 年度	診察		往診	
	実人数	延人数	実人数	延人数
元	76	497	30	567
2	77	506	34	606
3	59	559	34	601

2 地域での支援体制の基盤づくり

(1) 地域関係機関への技術援助

地域精神保健活動を推進するため、関係諸機関に対し専門的立場から、積極的な技術指導及び技術援助を行う。

○技術指導及び技術援助件数

区分 年度	保健所	市町村	福祉事務所	医療施設	介護老人施設	障害者支援施設	社会福祉施設	その他	計
元	396	201	156	1,340	16	43	39	1,865	4,056
2	516	159	131	1,400	8	43	248	1,451	3,956
3	643	193	178	1,932	51	109	252	2,006	5,429

(2) 人材育成

精神保健福祉業務に従事する職員等に、専門的研修等の人材育成を行い、技術水準の向上を図る。

○研修会

- ・アルコール依存症支援者専門研修 開催回数 4回 参加者数 148人（延）
- ・退院支援の研修会（ケアマネジメント研修・危機介入研修）
開催回数 1回 参加者数 71人（延）

○関係機関等への講師派遣

- ・講演会 講師派遣回数 8回

(3) 精神障害者地域支援システム整備事業

精神障害者が住み慣れた地域を拠点とし、本人の意向に沿った生活を送るため、地域生活への移行並びに地域生活を継続するために必要な支援システムを構築する。

○地域移行・地域定着支援事業

精神障害者が住み慣れた地域を拠点とし、本人の意向が尊重され充実した生活ができるように保健・医療・福祉などの関係機関が連携して支援を行い、地域生活への移行と地域生活を継続するための支援を行っている。（退院意欲向上支援については、平成30年度より地域移行支援に含む）

令和3年度

	対象者数 (実)	支援回数 (延)	支援内訳			
			訪問	電話	機関相談	往診
地域移行	73	1,478	186	285	1,004	0
地域定着	12	711	130	160	421	0

・精神科病院でのグループ活動

精神科病院への長期入院などにより退院意欲が低下している入院患者を対象に、病院やピアサポーターと協働してグループワークを行っているが、令和3年度は新型コロナウイルスの影響で実施できなかった。

令和3年度

病院数	実施回数	参加人数(延)	企画会議実施回数
2	0	0	0

・精神障害者地域交流会

退院を目指している入院中の患者が、地域で生活している精神障害者（ピアサポーター等）や支援者等と交流することで、退院後の地域生活のイメージづくりや意欲の喚起を目指し、年3回実施していたが、令和3年度は新型コロナウイルスの影響で実施できなかった。

	第1回	第2回	第3回
実施日	—	—	—
会場	—	—	—
内容	※新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止	※新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止	※新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止
参加者数	—	—	—

・精神障害者地域移行支援連絡会

精神科病院の長期入院者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、精神科病院の支援者と、地域支援事業所の支援者を対象として円滑な連携を促進することを目的に、平成30年度から開催している。令和3年度は新型コロナウイルスの影響により実施できない会があった。

	第1回	第2回	第3回	第4回
実施日	9月29日	1月21日	—	—
会場	オンライン	北消防署小会議室	—	—
内容	①病棟内での地域 移行支援の動きに ついて ②事例紹介	※新型コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止	※新型コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止	※新型コロナウイルス 感染拡大防止の ため中止
参加者数	23名	—	—	—

○地域精神保健危機介入・継続支援体制整備事業

地域生活の維持・継続が困難となっている精神障害者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けていけるように地域支援を行っている。

令和3年度

対象者数 (実)	支援回数 (延)	支援内容内訳				
		訪問	面接	診察/往診	機関相談	電話
56	1,494	365	31	201	459	438

(4) こころの健康早期支援事業

市内の中学生が精神疾患に対する正しい知識を習得することで、その誤解や偏見を防止し、更に自らが精神的不調や疾病を抱えた際に、早期に専門医療や相談支援に結びつくことを目的として、教師が精神疾患をテーマに授業を行っている。

・令和3年度実施校：実施校なし

○人権教育での取り組み（授業）

人権教育の中で精神疾患について学び、正しい知識を得ることを目的に授業を実施する。

中学校名	授業回数	対象
実施校なし	0回	—

○専門研修（教職員対象）

精神疾患に関する理解を深め、早期支援に必要な知識を得るために教職員を対象に専門研修を実施する。

中学校名	回数	参加人数
実施校なし	0回	0人

○実践評価検討会

精神科医、教育委員会、学校関係者などで学習内容などの評価検討を行う。

中学校名	回数	参加者(実人数)	参加者(延人数)
実施校なし	0回	0人	0人

○専門相談

精神疾患の疑いのある生徒に関して生徒自身やその家族、または教員に対し、精神科医などを派遣し専門相談を実施する。

・令和3年度：実施校なし

○事業評価検討会

中学校の授業で使用する標準版の指導案・教材等を作成するため、関連分野の専門家を招き、検討を行う。

開催回数：0回 参加者数：0人（延）

(5) 児童思春期精神保健対策事業

○思春期精神保健専門研修会

開催回数：2部構成として2日に分けて実施

参加者数：第1回 10人 第2回 7人

(6) ひきこもり対策推進事業

岡山市ひきこもり地域支援センターにおいて、ひきこもり本人や家族等への支援を実施する
 (一部事業は社会福祉法人手をつなぐ育成会へ委託)。

○相談支援

- ・延べ相談件数 令和3年度

電話相談	来所相談	訪問
1,260	743	299

- ・対応ケース数(実)：168 ケース

(対象者男女別) 令和3年度

男性	女性	計
135	33	168

(対象者年齢別)

令和3年度

19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不明	計
13	75	53	23	4	0	0	168

○家族教室(全2回) *3回企画したが、1回はコロナ感染拡大により中止

参加者数：15人(延)

○ひきこもりサポーター派遣事業

- ・ひきこもりピアサポーター

令和3年度登録人数 5人

○居場所・就労支援(委託) 利用者数8人(実)

○ひきこもり支援従事者研修(委託)

開催回数：1回 参加者数：34人

○交流会

- ・当事者会 実施回数：7回 参加者数20人(延)

*毎月実施予定であったが、5回はコロナ感染拡大により中止

(7) 依存症対策推進事業

平成30年4月に、「岡山市依存症相談支援センター」を設置。

○職域依存症対策推進事業

働き盛りの時期の多量飲酒者に早期に介入し、依存症への移行を予防するための対策を推進する。

- ・アルコール依存症予防早期介入実践プログラム「おいしくお酒を飲むための教室」の実施

令和3年度

プログラムA (初期介入プログラム) 講義+グループワーク			フォローアップ (継続的介入プログラム) グループワーク			プログラムB 講義		
事業場数	回数	人数	事業場数	回数	人数	事業場数	回数	人数
1	1	20	0	0	0	2	2	523

○一般医療機関・アルコール専門病院ネットワーク化事業

一般医療機関とアルコール専門病院の連携により、一般医療機関を受診するアルコール関連問題を有する患者を、より早期にアルコール専門医療に導入するためのネットワークシステムを構築する。

- ・岡山アルコール依存症早期支援ネットワーク会議 開催回数：3回

○薬物関連対策

薬物依存に関する知識の習得と関係機関の連携体制を構築する。

- ・薬物依存基礎研修 開催回数：1回 参加者数：21人

○ギャンブル等関連対策

ギャンブル等依存に関する知識の習得と対応能力の向上を図る。

- ・ギャンブル等依存症基礎研修 開催回数：1回 参加者数：23人
- ・ギャンブル依存症回復支援プログラム（OCAT-G）
2クール（全5回） 参加人数（実）：3人

(8) 自殺対策推進センター事業

平成21年度から取り組んできた自殺予防対策の業務内容を継続・強化し、自殺ハイリスク者支援を行うため、平成27年4月に「岡山市自殺予防情報センター」を設置した。平成29年度から「岡山市自殺対策推進センター」に名称変更。

○相談支援

- ・対応事例数（実）：85人
- ・相談件数（延）

令和3年度

来所	訪問	電話	関係機関からの相談
173	188	477	126

○機関連携

- ・救急外来への巡回相談・・・岡山市内7病院（延）7回
- ・自殺未遂者・希死念慮者に対する相談支援モデル事業（弁護士派遣事業）・・・3件
- ・暮らしとこころの相談会の開催・・・2回（実）14人（延）14人

○人材育成

- ・自殺予防のための支援者研修会
開催回数1回 参加者数42人
- ・自殺予防対策ゲートキーパー研修 講師派遣回数：0回 受講者数（延）：0人

○自死遺族支援

- ・わかちあいの会（自死遺族の集い）の開催
毎月1回開催 参加人数（実）9人（延）16人

○うつ病集団認知行動療法プログラム 1クール（全8回）参加人数（実）：4人

3 こころの健康についての普及啓発

支援者に対し、精神保健福祉の知識、精神障害についての正しい知識について普及啓発を行う。

令和3年度

内 容	参加者数
こころの健康講演会 「コロナウィルス感染症が社会に与える影響について」 講師：高橋晶准教授（筑波大学医学医療系災害・地域精神医学）	53

4 自立支援医療費（精神通院医療）の支給認定、発行

精神疾患により通院が必要な患者の医療費の自己負担割合が原則1割となる制度。こころの健康センターにおいて、支給認定及び受給者証発行業務を行っている。

（令和4年3月31日現在 支給認定者数）

障 害 名	ICDカテゴリー	人数
症状性を含む器質性精神障害	F0	440
精神作用物質使用による精神および行動の障害	F1	334
統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害	F2	3,708
気分(感情)障害	F3	4,893
神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	F4	1,862
生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	F5	79
成人のパーソナリティおよび行動の障害	F6	66
精神遅滞(知的障害)	F7	171
心理的発達の障害	F8	2,068
小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害	F9	570
てんかん	G4	910
合 計		15,101

5 精神障害者保健福祉手帳の判定、発行

一定の精神障害のある方に対して、その障害を認定して手帳を交付することにより、各種の支援が受けられ、自立と社会参加の促進を図ることを目的とした制度。こころの健康センターにおいて判定及び手帳発行業務を行っている。

（令和4年3月31日現在 手帳所持者数）

等 級	1級	2級	3級	合計
人 数	498	3,700	3,411	7,609

6 精神医療審査会の運営

自発的意思によらず入院している精神障害者（措置入院、医療保護入院）の人権に配慮し、適正な医療及び保護を確保するために、患者の入院の適否、処遇等について専門的かつ独立的に審査を行う機関。医療委員19人、法律家委員12人、有識者委員10人で構成される。こころの健康センターに事務局を置く。又、精神科病院の病棟からの専用電話回線を事務局内に設置し、患者からの病院での処遇等に関する相談にのっている。

(1) 精神医療審査会審査件数 令和3年度

種 類	件 数
措置入院者の定期病状報告	6
医療保護入院者の定期病状報告	1,132
医療保護入院届	3,117
任意入院者の定期病状報告書	80
退院請求	77
処遇改善請求	8

(2) 専用電話回線による入院患者からの相談延件数 816件

Ⅲ その他

1 精神科救急医療体制整備事業

緊急な医療を必要とする精神障害者等のための精神科救急医療体制を確保するため、次の事業を実施している。(岡山県と共同実施)

(1) 精神科救急情報センター事業

本人、家族、警察、消防機関等からの電話による救急相談や診察・入院依頼等を早期に最も適切な救急医療に結びつけるために、県下の救急医療情報や急患の発生状況を収集し、緊急な対応を要する精神障害者等に関する相談及び指導を行うとともに、必要に応じて情報の提供や利用者と医療機関等との連絡調整を行っている。

ア 運営時間

休日(土曜日を含む)：午前8時30分～翌日の午前8時30分

平日：午後5時～翌日の午前8時30分

イ 実施主体

岡山県及び岡山市(委託先：地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター)

ウ 運営体制

医師1名(オンコール)・医療スタッフ2名・事務職1名

エ 相談者数

年度	市内在住	市外在住(県内)	県外	不明	計
元	895	3,656	31	405	4,987
2	902	3,550	34	357	4,843
3	828	2,781	63	313	3,985

(2) 精神科病院群輪番体制整備事業

休日及び夜間に緊急な対応を要する精神障害者に対して、迅速かつ適切な医療を提供するため、精神科病院群の輪番体制により、休日及び夜間の診療体制を確保している。

ア 運営時間

休日：午前8時30分～翌日の午前8時30分

平日：午後6時～翌日の午前8時30分

イ 当番病院

県内を県南・県北の2圏域に分け、各圏域に1か所ずつ精神科の当番病院を置いている。

区分	当番病院	圏域構成市町村
県南圏域	河田病院、慈圭病院、 林病院、万成病院、 山陽病院、倉敷仁風ホスピタル、 ももの里病院 (7病院)	岡山市、倉敷市、玉野市、瀬戸内市、備前市、赤磐市、 総社市、笠岡市、井原市、浅口市、吉備中央町、 和気町、早島町、里庄町、矢掛町 (10市5町)
県北圏域	たいよの丘ホスピタル、 向陽台病院、積善病院、 希望ヶ丘ホスピタル (4病院)	津山市、高梁市、新見市、真庭市、美作市、新庄村、 鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町 (5市5町2村)

ウ 当番病院において入院に至った相談者数（令和3年度）

(単位:人)

区分	市内在住	市外在住	県外在住	不明	計
県南圏域	36	53	10	0	99
県北圏域	1	9	0	0	10
計	37	62	10	0	109

(3) 精神科救急常時対応型医療施設事業

24時間365日、重度の症状を呈する精神科急性期患者に対応するため、地方独立行政法人岡山県精神科医療センターに医師や看護師を常時配置し、病床を確保することで、県内全域のバックアップを含めた休日及び夜間の診療体制を確保している。

ア 運営時間

休日：午前8時30分～翌日の午前8時30分

平日：午後6時～翌日の午前8時30分

イ 実施主体

岡山県及び岡山市（委託先：地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター）

ウ 入院に至った相談者数

(単位:人)

年度	市内在住	市外在住	県外在住	不明	計
3	294	161	12	2	469

2 精神科病院に対する実地指導及び実地審査

精神病床を有する病院を対象に、精神保健福祉法及び通知等が遵守され、入院患者の人権に配慮した適正な精神医療が提供されるよう審査・調査し、指導を行っている。

○ 実施回数: 定期7回、臨時2回

病院名	精神科 病床数(床)	指定 病床数(床)	病院名	精神科 病床数(床)	指定 病床数(床)
岡山県精神科医療センター	219	36	万成病院	500	15
岡山大学病院	34	0	岡山ひだまりの里病院	180	0
慈圭病院	570	20	林道倫精神科神経科病院	278	10
河田病院	640	25	山陽病院	204	10

(R4. 3. 31 現在)

3 岡山市認知症疾患医療センター

地域における認知症疾患の保健医療水準の向上を図るため、岡山市認知症疾患医療センターを指定している。

指 定 先 岡山赤十字病院（岡山市北区青江二丁目1番1号）

指定期間 令和3年4月1日から令和6年3月31日

※最初の指定年月日 平成23年10月1日

事業内容 鑑別診断や急性期対応など認知症専門医療の提供、認知症に関する医療相談など
令和3年度実績

○鑑別診断件数：428件

○専門医療相談件数：電話相談109件 面接相談75件

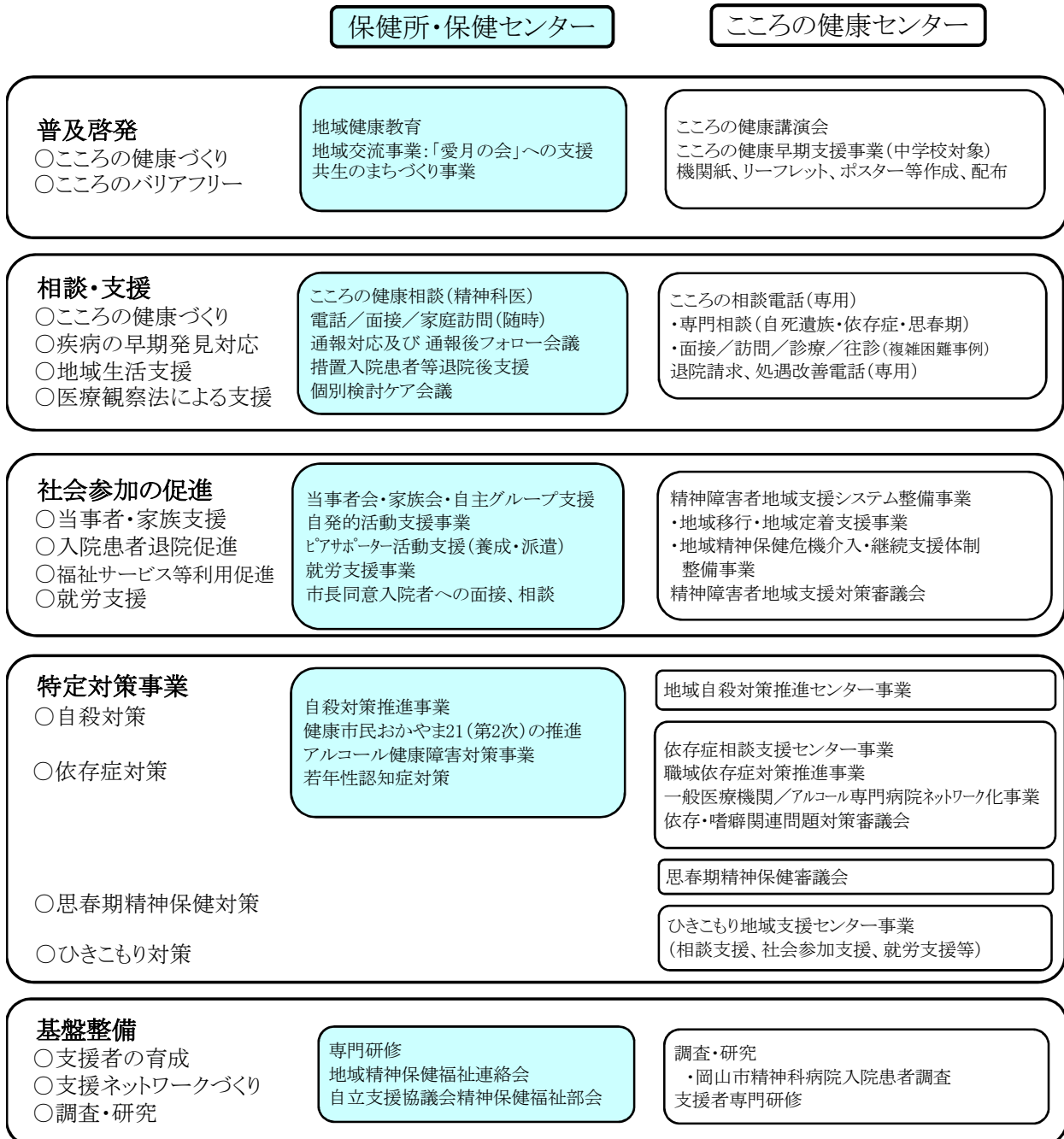
4 岡山市障害者生活支援センター“こらーれ”（令和3年度分）

地域で生活する障害者の日常生活の相談支援、日中活動の場の提供、地域交流事業、普及啓発活動などを行い、障害者の地域生活支援、社会参加を支援している。

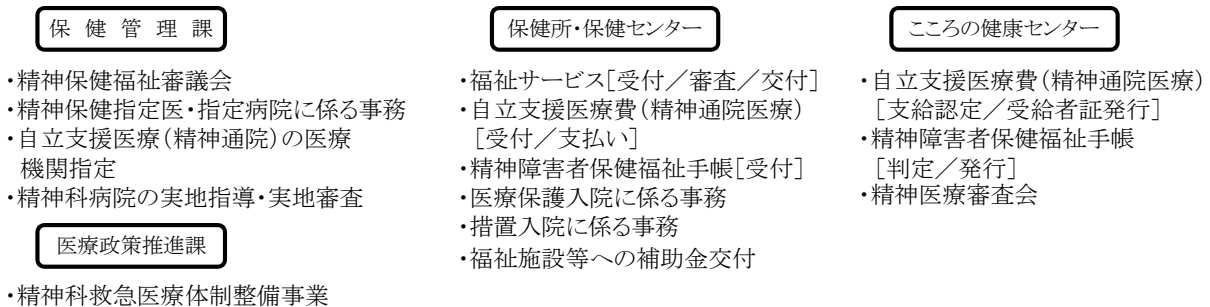
施設利用状況	登録者数 17人、延利用者数 2,556人
相談支援状況	延相談件数 2,010件 (面接882件、電話739件、訪問285件、時間外相談件数12件)
日中活動の場	ミニ作業・奉仕活動・趣味の会・食事づくりの日等 69回
ボランティア活動支援	27回
組織育成・他団体との連携	家族会 4回、個別支援会議・連携会議 680回
普及啓発	機関紙発送 6回、地域交流会 9回

5 岡山市精神保健事業の体系

(令和4年4月1日現在)



【その他の精神保健福祉法・障害者総合支援法関連業務】



第5節 特定保健対策事業

1 難病対策事業

(1) 医療費等の助成制度

ア 特定疾患治療研究事業

特定疾患治療研究事業に指定されている4疾病の医療費を助成する特定疾患医療受給者証交付申請書の受付等を行う。

○ 特定疾患治療研究事業疾病別認定患者数（令和4年3月末現在）

スモン（25人）、難治性肝炎のうち劇症肝炎（0人）、重症急性膵炎（0人）、プリオン病（0人）

イ 特定医療費（指定難病）

平成27年1月1日に施行された「難病の患者に対する医療費に関する法律」に規定された特定医療費（指定難病）支給認定申請の受付等を行う。（対象338疾病 令和4年4月1日現在）

特定医療費（指定難病）疾患群別年代別認定患者数（令和4年3月末現在）

疾患群	年代（歳）別認定患者数（人）									合計
	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-74	75以上	
血液系疾患	0	1	12	10	13	17	28	22	54	157
免疫系疾患	0	0	40	87	161	170	140	130	229	957
内分泌系疾患	0	3	13	25	23	27	21	16	24	152
代謝系疾患	0	0	4	4	6	12	13	8	17	64
神経・筋疾患	0	11	38	47	119	170	333	359	1,017	2,094
視覚系疾患	0	0	1	0	7	6	16	9	30	69
聴覚・平衡機能系疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
循環器系疾患	0	2	9	8	29	37	46	39	65	235
呼吸器系疾患	0	0	7	12	14	44	49	46	124	296
消化器系疾患	0	13	156	210	300	282	193	108	136	1,398
皮膚・結合組織疾患	0	1	12	13	33	44	56	42	82	283
骨・関節系疾患	0	0	4	16	37	67	85	77	218	504
腎・泌尿器系疾患	0	5	28	30	58	64	51	27	42	305
染色体または遺伝子に変化を伴う症候群	0	0	7	2	1	4	2	0	1	17
耳鼻科系疾患	0	0	1	13	24	23	35	9	2	107
合計	0	36	332	477	825	967	1,068	892	2,041	6,638

○ 認定患者数の多い疾病

パーキンソン病（1,104人）、潰瘍性大腸炎（883人）、クローン病（323人）、全身性エリテマトーデス（309人）、後縦靭帯骨化症（263人）

ウ スモンに対するはり、きゅう及びマッサージ治療研究事業

スモン患者のはり、きゅう等の施術費を助成する治療受給申請書の受付等を行う。

○申請者数：6人（令和3年度）

(2) 地域療養の支援

ア 保健師等による相談人数（延） 令和3年度

面接	電話
682	2,203

イ 在宅療養支援計画策定・評価事業

難病患者に対し、個々の実態に応じて、きめ細かな支援を行うため、関係機関のスタッフが共同で在宅療養支援計画を作成し、各種サービスの適切な提供に努めている。

また、支援計画については、適宜、評価を行い、その改善を図っている。

○ 開催回数：17回（令和3年度）

ウ 訪問相談事業

在宅の難病患者・家族が抱える日常生活上及び療養上の問題について、個別の相談、指導、助言等を行うため、保健師や看護師等を派遣している。

○ 訪問人数：実人数 82人、延人数 191人（令和3年度）

エ 医療相談事業

難病患者等の療養上の不安の解消を図り、適切な情報を提供するため、難病に関する専門の医師、社会福祉士等による医療福祉相談を実施している。

令和3年度

実施回数	参加実人員
2回	11人

オ 訪問指導（診療）事業

在宅の難病患者やその家族に対して、在宅療養に必要な医学的指導等を行うため、専門の医師、対象疾患の主治医、保健師、看護師、理学療法士等による訪問指導（診療）班を構成し、訪問指導（診療）事業を実施している。

○ 訪問人数：実人数 2人、延人数 2人（令和3年度）

カ 訪問指導員育成事業

要支援難病患者やその家族に対する、療養生活を支援するための相談、指導、助言等を行う訪問指導員の確保と資質の向上を図るために実施している。

令和3年度

実施回数	延参加者数
1回	12人

キ 在宅人工呼吸器使用患者支援事業

在宅で人工呼吸器を使用している指定難病の患者に対して、患者の在宅療養を支援するために実施している。

令和3年度

実施回数
581回

ク 難病患者・家族のつどい

南保健センター管内の女性難病患者会を支援している。(ふる一つの会)

令和3年度

実施回数	参加実人員	参加延人員
5回	7人	24人

(3) 福祉施策の推進

障害者総合支援法の規定に基づき、難病患者等の障害福祉サービス等の申請及び支給認定を行っている。

令和3年度

	介護給付		訓練等給付		地域相談支援給付		補装具
	新規	更新	新規	更新	新規	更新	
決定数	4	11	3	14	0	0	5
合計	15		17		0		5

	地域生活支援事業		
	日常生活用具	その他	
		新規	更新
決定数	29	3	2
合計	34		

(4) 患者会への支援

各患者会が研修会を開催する際に講師を派遣等している。

- ・回数1件：岡山SCD・MSA友の会

(5) 岡山市難病相談支援センター事業

難病の患者が地域で安心して療養しながら暮らしを続けていくことができるよう、難病の患者等に対する相談・支援、地域交流活動の推進及び就労支援などを行う拠点施設として設置している。

○各種相談支援 令和3年度

面接	電話	メール等
291件	234件	1件

○疾患別講演会

開催回数：2回、参加者数：25人

○疾患別患者交流会

開催回数：3回、参加者数：12人

○患者交流会

開催回数：7回、参加延人数：35人

2 小児慢性特定疾病対策事業

治療が長期間に及び、医療費の負担も高額となる小児慢性特定疾病について、対象疾病をもつ 18 歳未満の児童（継続して治療を要する場合は、20 歳未満まで延長あり）を対象として、治療研究を推進することにより、医療の確立と普及を図る。併せて患者家族の医療費の負担軽減を図ることを目的として、医療費の自己負担部分を公費負担している。（所得に応じた自己負担あり）

また、児童の健全育成、福祉の向上に役立てるため、「小児慢性特定疾病児手帳」を希望者に交付している。

平成 27 年度から小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の相談支援事業を実施し、小児慢性特定疾病児童等や保護者からの療養・日常生活・各種公的手続き等の相談に対し、相談・支援・情報提供や、関係機関との調整等を行っている。また、平成 30 年度からピアサポーターによる相互交流支援事業を実施している。

◎ 小児慢性特定疾病認定患者数（令和 4 年 3 月末現在）

疾病 年度	総数	悪性 新生物	慢性腎 疾患	慢性 呼吸器 疾患	慢性心 疾患	内分泌 疾患	膠原病	糖尿病	先天性 代謝 異常	血液 疾患	免疫 疾患	神経・ 筋疾患	慢性消 化器 疾患	先天 異常 症候	皮膚 疾患	骨系統 疾患	脈管系 疾患
3	794	68	46	16	82	319	22	41	10	17	6	92	41	12	4	17	1

◎ 日常生活用具給付事業

日常生活を営むのに著しく支障のある在宅の小児慢性特定疾病児童等に対し、日常生活の便宜を図ることを目的として給付している。

令和 3 年度

利用実人数	2 人
給付品目	2 品目

3 臓器・骨髄移植等推進事業

◎ 骨髄バンクドナー奨励金

白血病や重症再生不良性貧血等の難治性血液疾患に有効な治療法である骨髄液移植及び末梢血幹細胞移植に関する正しい理解を深め、骨髄液や末梢血幹細胞提供希望者（ドナー）の登録を促進することを目的に、平成 28 年度からドナー及びドナーが勤務する事業所に奨励金を交付する助成制度を実施している。

助成対象 年度	ドナー ※上限額 105,000 円		事業所 ※上限額 90,000 円	
	件数	助成額	件数	助成額
2	12 件	1,235,000 円	2 件	350,000 円
3	6 件	630,000 円	0 件	0 円

4 原子爆弾被爆者対策事業

原子爆弾被爆者に対して、健康の保持増進を図るため健康診断を実施するとともに、手帳及び手当等に関する各種申請を受付けている。(手帳の交付・手当の支給は県)

(1) 被爆者健康手帳交付状況

令和3年度

区 分	人 数
被爆者健康手帳交付者数	392
健康診断受診者証交付者数	3

(2) 被爆者健康診断実施状況

年度	区分		一 般 検 査			精 密 検 査		
			対象者数	受診者数	受診率(%)	対象者数	受診者数	受診率(%)
2	一般健康診断	第1回	462	49	10.6	0	0	0.0
		第2回	458	46	10.0	5	3	60.0
		計	920	95	10.3	5	3	60.0
	がん検診		458	46	10.0	7	0	0.0
3	一般健康診断	第1回	440	47	10.7	0	0	0.0
		第2回	413	59	14.3	0	0	0.0
		計	853	106	12.4	0	0	0.0
	がん検診		426	48	11.3	0	0	0.0

(3) 各種手当の支給状況

令和3年度

区 分	実 人 数
医 療 特 別 手 当	20
特 別 手 当	0
原 子 爆 弾 被 爆 者 小 頭 症 手 当	0
健 康 管 理 手 当	306
保 健 手 当	26
介 護 手 当	2
葬 祭 料	25

第6節 感染症対策事業

各種感染症の発生及びまん延を予防するとともに感染症に対する正しい知識の普及啓発を行うために各種事業を実施している。

1 予防接種事業

予防接種法第5条第1項に基づき、A類疾病の定期接種としてBCG・ポリオ・四種混合・三種混合・二種混合・麻しん・風しん・日本脳炎・子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌・水痘・B型肝炎・ロタウイルスワクチンを、またB類疾病の定期接種としてインフルエンザ・高齢者用肺炎球菌を個別接種方式で実施している。

さらに、同法附則第7条の特例規定に基づき、新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。))の予防接種を実施している。

A類疾病の予防接種の実施状況

(単位:件)

種別		年度		2	3	接種の対象者及び方法
B	C	G		5,684	5,212	生後0か月～12か月未満
B型肝炎	1回目		5,550	5,247	生後0か月～12か月未満 27日以上の間隔をおいて2回接種後、1回目から139日以上の間隔をおいて3回目を接種 ※平成28年10月～開始	
	2回目		5,588	5,270		
	3回目		5,570	5,148		
四種混合 百日せき ジフテリア 破傷風 ポリオ	I期	初回	1回目	5,631	5,277	I期初回:生後3か月～90か月未満 I期追加:生後90か月未満(I期初回完了後6か月以上あける) ※平成24年11月～開始
			2回目	5,712	5,262	
			3回目	5,724	5,222	
		追加		6,007	5,299	
三種混合 百日せき ジフテリア 破傷風	I期	初回	1回目	18	46	I期初回:生後3か月～90か月未満 I期追加:生後90か月未満(I期初回完了後6か月以上あける)
			2回目	12	45	
			3回目	13	45	
		追加		16	51	
二種混合 ジフテリア 破傷風	I期	初回	0	0	I期初回:生後3か月～90か月未満 I期追加:生後90か月未満(I期初回完了後6か月以上あける) II期:11～13歳未満 ※但しI期初回、I期追加については三種混合が受けられない人が対象	
		追加	0	0		
	II期		5,234	4,677		
急性灰白 髄炎 (ポリオ)	I期	初回	1回目	17	47	I期初回:生後3か月～90か月未満 I期追加:生後90か月未満(I期初回完了後6か月以上あける) ※平成24年9月～開始
			2回目	13	45	
			3回目	15	46	
		追加		17	52	
麻しん ・風しん	I期		5,721	5,299	I期:生後12か月～24か月未満 II期:5歳以上7歳未満の人であって、小学校就学前の1年間にある人	
	II期		6,062	5,903		
麻しん	I期		0	0	※麻しん単独、風しん単独の接種も可	
	II期		0	0		
風しん	I期		0	0		
	II期		0	0		

種別	年度	2	3	接種の対象者及び方法
日本脳炎		27,979	16,232	I 期初回: 生後6か月～90か月未満 I 期追加: 生後90か月未満 (I 期初回完了後約1年あける) II 期: 9～13歳未満 ※実施期間は4～6月が望ましい ※平成23年5月20日から積極的勧奨差し控えによる未接種者(H7.4.2～H19.4.1生まれ)への特例措置開始
子宮頸がん		1,956	5,340	小学6年生相当～高校1年生相当の女子、3回接種
ヒブ		23,190	21,270	生後2ヶ月以上5歳未満の乳幼児、(標準的な接種)生後2ヶ月以上7ヶ月未満に開始した場合、3回接種後7ヶ月以上の間隔で1回接種
小児用肺炎球菌		22,590	21,200	生後2ヶ月以上5歳未満の乳幼児、(標準的な接種)生後2ヶ月以上7ヶ月未満に開始した場合、3回接種から60日以上の間隔で1回接種
水痘		11,481	10,350	1歳以上3歳未満 (標準的な接種) 1回目接種後6ヶ月から1年の間隔において2回目を接種 *平成26年度のみ経過措置 3歳以上5歳未満(1回接種)
ロタウイルスワクチン		4,809	10,983	27日以上の間隔を置いて、生後6週に至った日の翌日から生後24週に至る日の翌日までに2回(ロタリックス)、または生後6週に至った日の翌日から生後32週に至る日の翌日までに3回(ロタテック)経口投与する。

B類疾病の予防接種の実施状況

(単位:人)

種別	年度	2	3	接種の対象者及び方法
インフルエンザ		133,152	108,530	・満65歳以上 ・満60歳～65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する人(身体障害者手帳1級程度)
高齢者用肺炎球菌		6,847	5,688	・当該年度に65・70・75・80・85・90・95・100歳になる人 ※平成26年度のみ100歳以上の人も対象 ・満60歳～65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する人(身体障害者手帳1級程度)

・平成26年10月 水痘、高齢者用肺炎球菌、平成28年10月 B型肝炎、令和2年10月 ロタウイルスワクチンが法定接種となる。

新型コロナウイルス感染症の予防接種の実施状況

(単位:件)

種別	年度	2	3	接種の対象者
初回接種	1回目	6,381	543,369	・満5歳以上
	2回目	2,374	540,639	・満5歳以上
追加接種	3回目	—	295,089	・満12歳以上

・令和3年7月 12～15歳接種開始、令和4年3月 小児(5～11歳)接種開始、令和4年3月 12～17歳3回目接種開始

2 感染症対策事業

感染症の予防知識を普及するため啓発活動に努めているほか、発生動向を医療機関の協力を得るなどして調査し関係機関に情報提供している。感染症発生時には患者等の人権尊重に配慮した疫学調査、健康診断及び消毒等の実施、必要時病原体検査等実施している。

感染症発生動向調査の対象感染症は全数把握感染症（1, 2, 3, 4 類感染症及び5 類のうち全数把握対象）と特定の医療機関を指定して調査する定点把握感染症（5 類のうち定点把握対象）に分類される。

法改正により、平成 26 年 9 月 19 日に「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」、「水痘（入院例に限る）」、「播種性クリプトコックス症」が全数把握対象疾患（5 類感染症）に追加され、「薬剤耐性アシネトバクター感染症」が定点把握対象疾患から全数把握対象疾患に変更された。平成 27 年 1 月 21 日、「中東呼吸器症候群」、「鳥インフルエンザ（H7N9）」が、指定感染症から全数把握対象疾患に変更。平成 28 年 2 月 15 日、「ジカウイルス感染症」が、四類感染症に追加。平成 30 年 1 月 1 日、「百日咳」が全数把握対象疾患（5 類感染症）へ変更。平成 30 年 5 月 1 日より「急性弛緩性麻痺」が五類感染症へ追加となる。令和 3 年 2 月 13 日、感染症法等の改正により、「新型インフルエンザ等感染症」に「新型コロナウイルス感染症」が追加となる。

(1) 感染症予防対策

健康教育等による啓発活動・・・各地区における活動として愛育委員、おやこクラブ、栄養委員、元気の出る会、民生委員、また一般市民を対象にして、腸管出血性大腸菌感染症、インフルエンザ、コロナウイルス感染症等の予防について啓発を行った。

(2) 一、二類感染症発生状況（令和 3 年中に届出があったもの）

区分	一類 感染症	二類感染症						
		急性灰 白髄炎	結核	ジフテリ ア	重症急性 呼吸器症候群 (SARS に限る)	中東呼吸器 症候群 (MERS に限る)	鳥インフル エンザ (H5N1)	鳥インフル エンザ (H7N9)
届出数	0	0	111	0	0	0	0	0

(3) 三類感染症（5 疾病）発生状況（各年中に届出があったもの）

感染症名	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
R2 年届出数	0	0	50	0	1
R3 年届出数	0	0	37	0	0

(4) 病原体検査実施状況(令和 3 年中)

	赤痢菌		腸管出血性大腸菌		腸チフス		インフルエンザ	
	検体数	うち陽性	検体数	うち陽性	検体数	うち陽性	検体数	うち陽性
患者等	0	0	34	12	0	0	0	0
接触者	0	0	122	1	0	0		
総計	0	0	156	13	0	0	0	0

(5) 四、五類感染症発生状況（各年中に届出があったもの）

ア 全数把握対象（一部抜粋）

四類感染症	元	R2	R3	五類感染症	元	R2	R3
A型肝炎	1	0	0	アメーバ赤痢	10	8	5
E型肝炎	0	1	0	ウイルス性肝炎(A・E型以外)	3	9	3
日本紅斑熱	2	4	3	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	16	15	9
重症熱性血小板減少症候群	2	6	5	急性脳炎(ウエストナイル・日本脳炎以外)	15	6	7
つつが虫病	0	1	0	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	0
日本脳炎	0	2	0	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	3	4
デング熱	5	0	0	後天性免疫不全症候群	3	11	6
レジオネラ症	21	34	27	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	0
合計	31	48	35	侵襲肺炎球菌感染症	14	5	7
				水痘(入院例)	6	5	4
				梅毒	127	98	88
				播種性クリプトコックス症	0	1	1
				破傷風	0	1	0
				百日咳	115	50	5
				合計	314	213	142

イ 定点把握対象（五類）

延べ32の医療機関から週報又は月報により対象26疾病の発生動向を調査している。

令和3年中の報告数（1定点あたり年間件数）

小児科定点(14機関)		眼科定点(5機関)		基幹定点(1機関)	
咽頭結膜熱	12.57	急性出血性結膜炎	0.60	* 性感染症定点兼ねる	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	18.0	流行性角結膜炎	5.40	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0
感染性胃腸炎	212.21	性感染症定点(5機関)		細菌性髄膜炎(髄膜炎菌・肺炎球菌・インフルエンザ菌を除く)	1.0
水痘	8.0	性器クラミジア感染症	20.0		
手足口病	63.57	性器ヘルペスウイルス感染症	5.80	マイコプラズマ肺炎	0
伝染性紅斑	0.93	尖圭コンジローマ	2.40	無菌性髄膜炎	0
突発性発疹	27.14	淋菌感染症	5.0	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0
ヘルパンギーナ	24.0	インフルエンザ定点(小児科14・内科8機関)		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	8.0
流行性耳下腺炎	5.14	インフルエンザ(鳥インフル・新 型インフルエンザ除く)	0.23	薬剤耐性緑膿菌感染症	0
RSウイルス感染症	43.64			感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	1.0

ウ 社会福祉施設等における感染症等の発生時対応

通常の発生動向を上回る感染症の発生が疑われた場合など、社会福祉施設等からの報告を受け、積極的疫学調査の実施と衛生上の指導を行っている。

令和3年度 相談件数

種 別		感染性胃腸炎			インフルエンザ			新型コロナ			その他		
		相談 件数	立ち入り施設数		相談 件数	立ち入り施設数		相談 件数	立ち入り施設数		相談 件数	立ち入り施設数	
			実数	延べ		実数	延べ		実数	延べ		実数	延べ
介護・老人 福祉関係施設	特別養護老人ホーム	0	0	0	0	0	0	34	7	15	0	0	0
	養護老人ホーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認知症グループホーム	0	0	0	0	0	0	7	3	4	0	0	0
	有料老人ホーム	0	0	0	0	0	0	17	2	2	0	0	0
	介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	18	5	7	0	0	0
児童・婦人関係施設	保育所	0	0	0	0	0	0	25	1	1	0	0	0
	乳児院等	0	0	0	0	0	0	5	1	1	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	393	19	56	0	0	0
合計		0	0	0	0	0	0	499	38	86	0	0	0

3 結核予防事業

結核予防法が廃止となり、結核は平成19年4月1日に感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律で二類感染症に位置づけられた。法律に基づき、結核患者の登録管理及び医療費の公費負担を行うとともに、接触者の健康診断及び一般の方の定期健診を実施し早期発見に努めている。

結核登録者数

区分 年次	人 口	新登録患者									別掲 転 入	登録除外者						年末現在登録数								
		患 者 総 数	肺結核活動性 感染症			肺 外 結 核 患 者 の 活 動 性 率	潜 在 性 結 核 感 染 症	除 外 総 数	死 亡 結 核	治 癒 他 症		転 出 症	転 入 他 者	登 録 者 数	肺結核活動性 感染症			肺 外 結 核 活 動 性	不 活 動 性	不 明	登 録 率					
			喀 痰 塗 抹 陽 性	そ の 他 の 菌 陽 性	計										登 録 時 喀 痰 塗 抹 陽 性	登 録 時 そ の 他 の 菌 陽 性	計					登 録 時 菌 陰 性 ・ そ の 他				
																							性	性	性	性
元	709,028	72	24	25	49	10	13	10.2	67	9	85	4	26	37	2	14	2	169	11	15	26	6	4	133	0	23.8
2	707,897	59	16	23	39	11	9	8.3	52	4	78	3	24	31	2	11	7	153	10	11	21	4	7	121	0	21.6
3	722,339	81	21	23	44	12	25	11.2	25	5	83	8	18	48	2	9	0	156	13	12	25	3	17	101	0	21.6

(1) 健康診断

患者発見のため、事業所、学校及び施設においてはその長及び事業者が、それ以外の一般住民については市長が実施義務者となり、また患者の接触者に対しては、市長が実施責任者となって接触者健康診断を実施している。

ア 健康診断実施状況（法第 53 条の 2 第 3 項）（単位：人）

区分 年度	定期健康診断(法第 53 条の 2 第 3 項)									
	対 象 者 数	間 接 撮 影 者 数	直 接 撮 影 者 数	受 診 者 数	要 精 密 検 査 者 数	精密検査			被発見者数	
						直 接 撮 影 者 数	断 層 撮 影 者 数	喀 痰 検 査 者 数	結 核 患 者 数	結 核 発 病 の お そ れ が あ る と 診 断 さ れ た 者
元	232,284	0	52,102	52,102	462	-	-	-	0	0
2	233,644	0	46,698	46,698	653	-	-	-	0	0
3	238,906	0	48,683	48,683	278	-	-	-	0	0

イ 接触者検診実施状況（法第 17 条）（単位：人）

区分 年度	受 診 者 数					検 診 結 果		
	保 実	健 施	所 分	受託医療機関 実 施 分	連 絡 票 そ の 他	計	結核患者数	*結核の発病のおそれのあるもの(LTBI含む)
元			0	902	635	1,537	7	98
2			0	535	353	888	4	31
3			0	468	544	1,012	1	8

ウ 岡山市結核健康診断費等補助金交付状況（法第 60 条第 1 項）

- 交付対象事業：学校又は施設（国公立の学校又は施設を除く）の長が実施する定期の健康診断（法第 53 条の 2 第 1 項）。平成 19 年度から交付対象に直接撮影を追加。
- 令和 3 年度交付施設数： 85 施設
- 令和 3 年度事業実施状況：受診者数 11,644 人
（間接撮影 254 人、直接撮影 10,978 人）

(2) 患者管理

結核患者の症状、受診状況を把握し、治癒できるように支援するとともに周囲への感染防止を図り、必要な者に対し管理検診を実施している。（法第 53 条の 13）

管理検診実施状況（単位：人）

区分 年度	受 診 者 数					検 診 結 果		
	保 実	健 施	所 分	受託医療機関 実 施 分	その他(H24年度から 連絡票を含む)	計	結核患者数	結核の発病の おそれのあるもの
元			0	155	68	223	0	120
2			0	136	90	226	0	116
3			0	152	92	244	0	112

(3) 結核医療費

一般患者の医療費に対して（法第 37 条の 2）と、法第 19 条、20 条に基づく勧告・措置入院患者に対して（法第 37 条）、公費負担制度が設けられている。

ア 法第 37 条の 2 による医療費の公費負担件数（一般患者）（単位：人）

年度	区分	被用者保険						国民健康保険			生活保護法			後期高齢者医療			その他		
		本人			家族			申請	合格	承認	申請	合格	承認	申請	合格	承認	申請	合格	承認
		申請	合格	承認	申請	合格	承認												
元		31	31	31	4	4	4	36	36	36	6	6	6	47	47	47	0	0	0
2		19	19	19	5	5	5	26	26	26	4	4	4	38	38	38	0	0	0
3		17	17	17	5	5	5	34	34	34	3	3	3	46	46	46	0	0	0

イ 第 37 条による医療費の公費負担件数（勧告・措置入院患者）（単位：人）

年度	区分	前年末現在	本年承認数	本年解除件数	本年末現在
元		7	29	28	8
2		8	27	31	4
3		4	34	31	7

令和 3 年度支払延件数・・・1,002 件

4 エイズ対策事業

エイズのまん延を防止するため、抗体検査やカウンセリング、正しい知識の普及啓発活動を実施している。

(1) エイズ・性感染症(STD)・性教育出前講座（岡山市エイズ・性感染症(STD)・性教育出前講座実施要綱）

地域住民、学校、企業等がエイズに関する理解を深める学習会等を開催する場合に、専門講師（出前講座）や保健所職員等（ミニ講座）の派遣を行っている。

実施状況

年度	区分	出前講座		ミニ講座	
		回数	受講者数	回数	受講者数
元		78	16,568	1	56
2		59	6,480	0	0
3		70	10,819	1	30

(2) エイズ対策研修会

男性同性間の性的接触による HIV 感染者、エイズ患者報告数が増加傾向にある。また、エイズは治療薬の進歩により慢性疾患化しており、患者への長期的な支援体制の整備が必要とされている。そのため、それぞれ医療関係者を対象に研修会を実施した。

岡山県・倉敷市と共催

日時：令和 3 年 12 月 14 日 19:00～20:20

「コロナ禍における HIV/エイズの早期発見について」

(3) 世界エイズデーにおける普及啓発活動

世界エイズデー（12月1日）にあたり、エイズ・HIVに関する知識普及、感染予防の理解及び差別偏見の払拭などについて総合的かつ集中的な啓発活動を行っている。

令和3年度世界エイズデー啓発テーマ

「レッドリボン30周年～Think Together Again～」

〔世界エイズデーin岡山〕 大学祭において実施

日時：中国学園大学・中国短期大学 中止

就実大学・就実短期大学 中止

内容：エイズカフェ、エイズキルト・パネル展示等

〔エイズキルト・パネル展示〕岡山市役所1階市民ホール

日時：令和3年12月1日

〔夜間無料エイズ・性感染症相談、検査〕岡山市保健所

日時：令和3年12月6日・令和3年12月7日

(4) HIV検査普及週間における普及啓発活動

HIV検査普及週間（6月1日～6月7日）、利便性の高い検査体制の構築と、HIV検査の浸透・普及啓発活動。

〔夜間無料エイズ・性感染症相談、検査〕岡山市保健所

日時：令和3年6月7日（月）17:20～20:00

6月8日（火）17:20～20:00

※新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止

5 特定感染症検査等事業

HIV抗体検査及びエイズに関する相談、性感染症検査、B・C型肝炎検査を同時に実施することで受検者の利便性を高め、これら感染症のまん延の防止及び発生の予防等を図るため実施している。

*B・C型肝炎は平成30年度よりHIV抗体検査と同時実施へ変更（通常検査のみ）

区分	元年度	2年度	3年度	
来所・電話による相談	2,155	666	706	
うちエイズホットライン	1,116	484	508	
検査内容	エイズ	501	114	110
	クラミジア	368	56	73
	うち(男性・女性)	(男259・女109)	(男40・女16)	(男50・女23)
	淋菌	369	56	73
	梅毒	500	112	109
	B型肝炎	275	25	23
	C型肝炎	274	25	23
合計件数	2,287	388	411	

(1) 特定感染症検査等事業

検査日時：第1月曜日 13:00～16:00、第1・第3水曜日 9:00～12:00

偶数月第1月曜日（夜間即日検査）17:20～20:00

（平成18年2月から夜間検査、平成28年6月から夜間即日検査実施）

(2) ウイルス性肝炎患者等の重症化予防推進事業

ウイルス性肝炎のまん延防止及び治療対策の推進を図ることを目的とし、保健所と一次専門医療機関（111医療機関）でウイルス性肝炎検査を実施している。

年度	区分		保健所		一次専門医療機関		会場検査		合計件数	
	B型	C型	B型	C型	B型	C型	B型	C型	B型	C型
令和元年度	116	116	609	608	594	594	1,319	1,318		
令和2年度	25	25	319	319	10	10	354	354		
令和3年度	23	23	392	392	0	0	415	415		

6 感染症対策地域連携ネットワーク事業

市内の医療機関等における感染予防・管理および薬剤耐性菌対策への取り組みを地域全体で推進するため、岡山市感染症対策地域連携ネットワークの構築を目指す。

市内55病院へ、抗菌薬の適正使用及び多剤耐性菌対策に関し、対応に苦慮した点や独自の工夫、耐性菌検出状況、抗菌薬適正使用活動状況等のアンケートを実施した。

7 新型コロナウイルス感染症対策事業

新型コロナウイルス感染症対策として相談・検査体制の整備を図った。また、感染症法に基づく積極的疫学調査、クラスター対応、陽性者への療養管理や健康観察など、保健所の体制整備を進めながら対策事業を実施した。

(1) 岡山市新型コロナウイルス感染症対策本部会議

新型コロナウイルス感染症について、庁内関係機関が相互に連絡調整を図り、総合的な対策を推進することを目的として、岡山市新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催した。

	開催回数	備考
令和2年度	21	第8回～第28回
令和3年度	28	第29回～第56回

(2) 岡山市業務継続計画（新型インフルエンザ等編）

令和4年1月20日（木）開催の第51回岡山市新型コロナウイルス感染症対策本部会議において、感染拡大時に、一部で市民サービスの低下を伴うことも想定されるものの、市民の生命及び健康を保護し、適切な医療に繋げることを最優先するため、業務継続計画（BCP）を適用することとし、保健所業務の維持を図った。

具体的には、公民館・図書館を臨時休館とし、保健所応援体制の強化を図った。

- ・公民館の臨時休館期間：令和4年1月21日（金）～令和4年3月6日（日）
- ・図書館の臨時休館期間：令和4年1月21日（金）～令和4年3月7日（月）

(3) 新型コロナウイルス感染症の患者数

区分 年度	患者数	うち死亡者数
令和2年度	1,441	16
令和3年度	29,760	72

(4) 相談・検査体制

ア 新型コロナウイルス受診相談センター

令和2年2月10日から「帰国者・接触者受診相談センター」を設置。5月から「新型コロナウイルス受診相談センター」と名称を変更し、幅広い相談を受ける窓口とした。

	電話相談件数
令和2年度	27,095
令和3年度	47,920

イ 検査体制

感染拡大防止のため検査体制を整備。令和2年2月から帰国者・接触者外来において検体を採取し、岡山県環境保健センターへ搬送しての検査を開始。令和2年3月から保健所での検体採取業務、令和3年1月からは屋外検体採取場を休館中の岡山市立東山プールに設けた。令和3年7月には北区天瀬に専用の検体採取施設(令和3年度実績8,876件)を整備するなど検査体制が充実した。

	検査実施件数	備考
令和2年度	53,113	
令和3年度	221,809	うち変異株スクリーニング1,057件

ウ 無症状者に対するPCR検査事業

PCR検査体制の強化を図るため、市内医療機関において、保険診療対象外の無症状者（保健所が認めた者に限る）へのPCR検査を委託事業として実施した。なお、令和4年1月以降は、オミクロン株による急速な感染拡大に対応するため、陽性患者の同居家族については、保健所の調査や連絡を待つことなく、PCR検査等を実施可能とした。

(岡山市医師会・岡山市内医師会連合会を通じて、市内の診療・検査医療機関へ委託)

- ・時期：令和3年5月1日（土）～令和4年3月31日（木）
- ・実績：7,099回
- ・協力医療機関数：227医療機関／325医療機関

エ 高齢者施設従事者等に対する新型コロナウイルスPCR検査事業

感染拡大した場合、重症化しやすい高齢者が入所する施設の従業員に対し、一定期間、継続的に検査を行うことで、高齢者施設における感染拡大を阻止するとともに、医療提供体制への負担の増大を防ぐ目的で実施。

<第1回>

- ・時期：令和3年4月30日（金）～令和3年6月30日（水）
- ・対象：高齢者福祉施設 395 施設（介護老人福祉施設、老人保健施設、介護療養型医療機関、介護医療院）のうち実施意向のあった 86 施設
- ・検査内容・回数：PCR 検査（プーリング方式）、2 週間に 1 回の検査を 2 か月間
- ・検査実績：74 施設・10,800 件

<第2回>

- ・時期：令和4年3月9日（水）～令和4年3月31日（木）
- ・対象：高齢者福祉施設 214 施設（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、認知症対応型共同生活介護）のうち実施意向のあった 56 施設
- ・検査内容・回数：PCR 検査、2 週間に 1 回の検査を 2 か月間
- ・検査実績：55 施設・1,099 件

(5) 積極的疫学調査

感染症法第 15 条に基づき、新型コロナウイルス感染症の発生予防、又は感染症の発生状況、動向及び原因を明らかにするため、コロナ本部内に患者調査班を設け積極的疫学調査を行った。患者発生の増加に伴いクラスターが多数発生したことからクラスター担当を設け、発生状況の迅速な把握や対象施設への対応を行った。

	クラスター公表件数
令和2年度	24
令和3年度	145

(6) 自宅療養者への支援

ア 自宅療養者への健康観察

令和3年5月下旬から、自宅療養者に対する診療所によるオンライン診療を開始した。また、自宅療養者に対する健康観察事業（岡山市医師会・岡山市内医師会連合会を通じて、市内の診療・検査医療機関へ委託）として、市内の診療・検査医療機関から、毎日、電話による健康観察を実施。

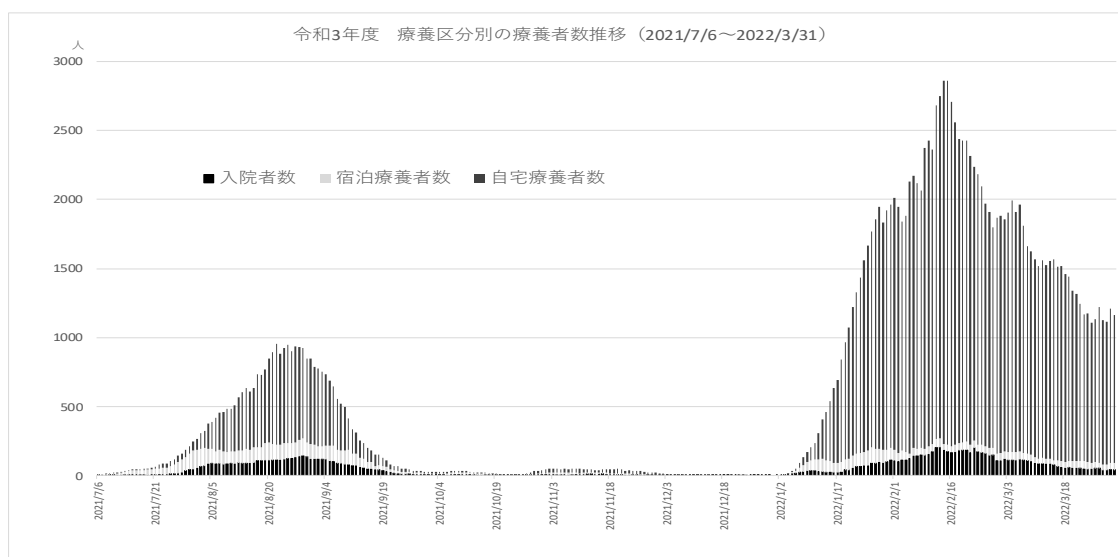
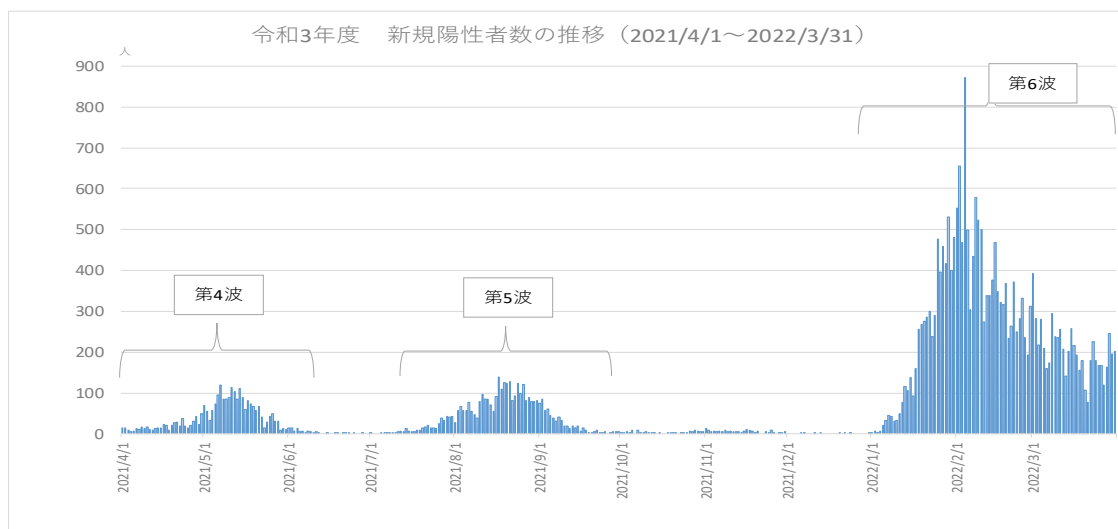
- ・時期：令和3年6月1日（火）～令和4年3月31日（木）
- ・実績：実人数：249人・延1,496回
- ・協力医療機関数：116医療機関/325医療機関

イ 自宅療養者への配食サービス

親族や知人などから支援を受けることやネットスーパー等での食料品の入手が困難な方に対し、食料品や生活に必要な日用品を療養期間に応じて提供。（令和2年12月から実施）

	配送件数
令和2年度	90
令和3年度	3,978

【資料】



第7節 地域保健活動

1 地区組織育成

市民が主体的に保健衛生活動に参加できるよう、ボランティア団体の育成支援を行っている。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動の中止・縮小する等工夫しながらの実施となる。

(1) 岡山市愛育委員協議会

母子保健及び老人保健を中心に、訪問活動や健康相談・健康診査事業等への協力、市からの委託事業などを行っている。令和3年度は学区・地区愛育委員会数98学区・地区で協議会を構成している。

区分 年度	委員数	の一世受人 受け持ち 世帯数	主体活動					協力活動		委託活動	
			会議		研修会		訪問	回数	協力 委員数	回数	協力 委員数
			回数	参加人数(延)	回数	延人員	参加人数(延)				
2	5,532	60.7	1,481	25,431	375	6,060	286,829	2,422	5,854	1,372	16,158
3	5,425	61.7	1,387	22,369	397	6,598	343,463	2,028	7,197	1,568	16,522

(2) 岡山市栄養改善協議会

地区の食生活改善のための普及活動、健康教育への協力、市からの委託事業などを行っている。令和3年度の学区・地区栄養改善協議会数は88学区・地区で協議会を構成している。

区分 年度	委員数	一人あたりの受け持ち 世帯数	主体活動		協力活動		委託活動	
			回数	参加人数(延)	回数	協力委員数	回数	協力委員数
2	1,914	173.3	1,991	36,855	35	327	296	1,723
3	1,910	175.3	2,142	33,173	39	315	345	2,192

2 保健師活動

地域の身近な相談者として、質の高い保健サービスが提供できるよう資質の向上や体制づくりに努めると共に、それぞれの健康レベルやライフステージに応じた保健活動とソーシャルキャピタルの醸成による市民主体の健康なまちづくりを推進している。

令和3年度の稼働時間の割合(10月調べ)では、「家庭訪問」の割合が17.59%であり前年度に比べやや増加していた。「コーディネート」の割合は、32.51%(個別：11.59%・地域：20.92%)で、前年度とほぼ同様であり、児童虐待や精神障害に加え、新型コロナウイルス感染症に関する相談や機関調整が増加したことが大きな要因であると考えられる。

令和3年度一年間の活動を見ると、対象別訪問状況(件数)は11,093件であり、前年度より減少している。特に母子保健では、妊産婦、児童虐待ともに微減、逆に成人・高齢者は微増、精神保健は横ばい、小児慢性疾患・難病は減少している。これは、新型コロナウイルス感染の感染拡大による活動控えとBCP(業務継続計画)の発動によるところが大きい。一方で、感染症にかかわる「電話」や「個別コーディネート」の件数が前年に比べて急増している(電話：7.78倍・コーディネート：3.25倍)。

(1) 保健師活動状況(時間)

区分	年度	令和2年度 (8月・10月の2か月間)		令和3年度 (10月の1か月間)	
		稼働時間(h)	割合(%)	稼働時間(h)	割合(%)
家庭訪問		4,853.5	16.75	2,722.5	17.59
機能訓練		2.0	0.01	0.0	0.00
グループワーク		126.0	0.43	193.0	1.25
健康相談		666.0	2.30	93.0	3.25
面接		7,528.0	25.98	3,462.5	22.37
電話					
組織育成		2,063.5	7.12	1,278.5	8.26
健康教育		247.5	0.85	148.0	0.96
健康診査		1,526.0	5.27	624.0	4.03
コーディネイト	個別	3,864.0	13.35	1,778.0	11.59
	地域	5,507.5	19.01	3,238.0	20.92
地区管理		54.0	0.19	12.0	0.08
調査研究		195.0	0.67	175.5	1.13
研修企画		397.0	1.37	185.0	1.20
研修参加		1,105.0	3.81	645.5	4.17
業務管理		652.0	2.25	327.0	2.11
実習生指導		28.0	0.10	27.0	0.17
予防接種		0.0	0.00	0.0	0.00
業務連絡・事務		109.5	0.38	120.0	0.78
他の保健福祉事業		39.0	0.13	19.0	0.12
その他		9.5	0.03	19.0	0.12
計		28,973.0	100.00	15,477.0	100.00

*稼働時間：令和2年度は8・10月の2か月分の集計。令和3年度は10月のみの集計。

(2) 対象別訪問状況(件数)

(令和3年度)

区分	感 染 症	結 核	妊 婦	産 婦	新 生 児	未 熟 児	乳 児	幼 児	児 童 虐待 待 者	成 人 ・ 高 齢 者	寝 た き り 者	そ の 他 生 活 習 慣 病	認 知 症 高 齢 者	ア ル コ ー ル 依 存 症	思 春 期	そ の 他 精 神 障 害	心 身 障 害 児 者	小 児 慢 性 特 定 疾 患	難 病	そ の 他	計
2	26	296	275	1943	348	195	4,427	1,496	1,685	98	0	2	1	86	1	2435	122	50	275	20	1,3829
3	2	182	244	1706	325	127	3,492	1,108	1,000	116	0	3	12	53	19	2394	67	16	191	37	11,093

(3) 対象別活動状況(件数)

(令和3年度)

	家庭訪問	面接	電話	健康相談	健康診査	健康教育	グループワーク	機能訓練	組織育成	コーディネイト		計
										個別	地域	
感染症	2	630	129,168	0	0	4,027	0	0	0	8,803	1,577	144,207
結核	182	112	1,611	0	0	0	0	0	0	437	78	2,420
エイズ	0	20	3	0	0	30	0	0	0	7	8	68
妊産婦	1,949	1,154	2,523	0	0	0	0	0	0	1,119	2,645	7,009
乳児	3,944	162	1,935	36	0	0	0	0	0	651	96	6,824
幼児	1,108	175	3,868	195	10,892	0	193	0	2,715	767	752	20,665
児童虐待	1,000	151	2,037	0	0	115	37	0	0	3,874	781	7,995
成人・高齢者	119	9,290	4,992	35	15	4,511	0	0	0	334	838	20,134
思春期	19	6	156	0	0	362	0	0	0	0	0	543
精神保健	2,459	5,439	7,764	77	0	1,387	400	0	0	2,816	836	21,178
小児特定慢性疾患	16	72	196	0	0	0	0	0	0	178	66	528
心身障害児者	67	25	229	0	0	0	0	0	0	19	106	446
難病	191	682	2,203	0	0	59	0	0	0	428	386	3,949
健康一般	0	641	2,135	188	0	2,279	943	0	19,125	6,288	2,573	34,172
その他	37											37
計	11,093	18,559	158,820	531	10,907	12,770	1,573	0	21,840	25,721	8,316	270,175

・保健所・保健センターの保健師活動状況をまとめたものである。

・コーディネイトとは、「保健・医療及び福祉の連携のもとで最適なサービスを総合的に提供するための調整を行う」ことである。

3 地域保健推進会議

地域住民・医療機関・保健・福祉関係者等から身近な意見を聞き、情報交換をすることにより地域特性をふまえた地域保健福祉活動を効果的総合的に推進するため、平成10年度から保健センター毎に設置した。

<委員>

- (1) 保健・福祉・医療関係団体等
 - (2) 地区住民ボランティア組織等
 - (3) 保健・福祉行政機関職員
 - (4) その他地域で保健福祉活動をしている者
- 上記(1)～(4)から代表者を選出
任期は2年(再任を妨げない)

上記(1)～(4)から代表者を選出
任期は2年(再任を妨げない)

<開催状況>

各保健センターで年1回以上開催する。

※ 令和3年度各保健センター共通議題

- ① 保健センター管内の概況について
- ② 保健センターの重点活動について
- ③ 意見・情報交換 テーマ:「新型コロナウイルス感染症」(前年と同じテーマ)
- ④ その他

※ 令和3年度保健センター別開催状況

(新型コロナウイルス感染症予防のため、令和3年度もwebでの参加も可能にして開催した。)

保健センター名	日 程	出席者数(人)		
		委員(内web)	職員	合計
北区中央保健センター	10月4日(月)	14(8)	9	23
北区北保健センター	10月11日(月)	10(5)	18	28
中区保健センター	10月8日(金)	12(2)	16	28
東区保健センター	10月7日(木)	13(5)	15	28
南区西保健センター	10月18日(月)	13(8)	14	27
南区南保健センター	9月29日(水)	13(7)	18	31